

一括請求 Assist<sup>®</sup> Ver.2

操作マニュアル

# CSV フォーマット設定編

第 2.1 版

---

## 目次

はじめに.....	4
1 CSV フォーマット設定について.....	5
1.1 CSV フォーマット設定の概要.....	5
1.2 CSV フォーマット設定の流れ.....	6
1.3 CSV フォーマットについて.....	8
2 読込 CSV フォーマットの設定.....	9
2.1 読込 CSV フォーマットの新規作成.....	9
2.1.1 読込 CSV フォーマットを新規作成する.....	9
2.2 読込 CSV フォーマットの修正.....	12
2.2.1 読込 CSV フォーマットを修正する.....	12
2.2.1.1 ヘッダレコード有フォーマット.....	14
2.2.1.2 ヘッダレコード無フォーマット.....	18
2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定.....	22
2.3.1 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する.....	22
2.4 読込 CSV フォーマットの削除.....	24
2.4.1 読込 CSV フォーマットを削除する.....	24
2.5 読込 CSV フォーマットのファイル出力.....	26
2.5.1 読込 CSV フォーマットファイルを出力する.....	26
2.6 読込 CSV フォーマットのファイル読込み.....	29
2.6.1 読込 CSV フォーマットファイルを読込む.....	29
3 出力 CSV フォーマットの設定.....	32
3.1 出力 CSV フォーマットの新規作成.....	32
3.1.1 出力 CSV フォーマットを新規作成する.....	32
3.2 出力 CSV フォーマットの修正.....	35

---

---

3.2.1	出力 CSV フォーマットを修正する	35
3.2.1.1	ヘッダレコード有フォーマット	37
3.2.1.2	ヘッダレコード無フォーマット	42
3.3	出力 CSV フォーマットの使用するフォーマットの設定	46
3.3.1	出力 CSV フォーマットの使用するフォーマットを設定する	46
3.4	出力 CSV フォーマットの削除	48
3.4.1	出力 CSV フォーマットを削除する	48
3.5	出力 CSV フォーマットのファイル出力	50
3.5.1	出力 CSV フォーマットファイルを出力する	50
3.6	出力 CSV フォーマットのファイル読み込み	53
3.6.1	出力 CSV フォーマットファイルを読み込む	53
4	補足事項(読み込み CSV フォーマット設定)	56
4.1	読み込み CSV フォーマットのフォーマット形式(ヘッダレコード有/ヘッダレコード無)について	56
4.1.1	ヘッダレコード有フォーマット	56
4.1.2	ヘッダレコード無フォーマット	57
4.2	読み込み CSV フォーマットの項目番号(読み込み位置)について	58
4.3	読み込み CSV フォーマットの固定値設定機能について	59
4.4	読み込み CSV フォーマットの利用者情報の自動設定機能について	60
4.5	読み込み CSV フォーマットのタイトル行有無について	67
4.5.1	タイトル行有	67
4.5.2	タイトル行無	67
5	補足事項(出力 CSV フォーマット設定)	68
5.1	出力 CSV フォーマットのフォーマット形式(ヘッダレコード有/ヘッダレコード無)について	68
5.1.1	ヘッダレコード有フォーマット	68
5.1.2	ヘッダレコード無フォーマット	69

---

---

5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)／CSV 項目数について.....	70
5.3 出力 CSV フォーマットの固定値設定機能について.....	71
5.4 出力 CSV フォーマットの利用者 ID の自動設定機能について.....	72
5.5 出力 CSV フォーマットのタイトル行有無について.....	77
5.5.1 タイトル行有 .....	77
5.5.2 タイトル行無 .....	77

---

## はじめに

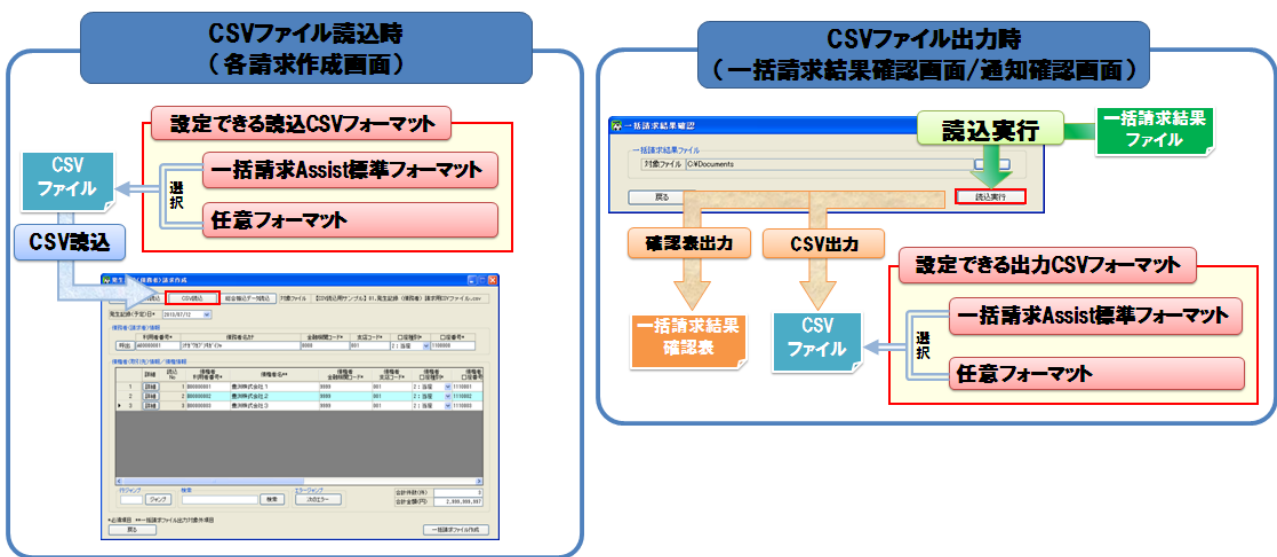
本書では、CSV フォーマットの設定方法を説明します。

# 1 CSVフォーマット設定について

## 1.1 CSVフォーマット設定の概要

本ソフトは、一括請求ファイルを作成する際に、事前に設定したCSVフォーマットでCSVファイルを読み込むことができます。また、一括請求結果ファイル、通知ファイルの読み込みを行った際に、事前に設定したCSVフォーマットでCSVファイルを出力することができます。

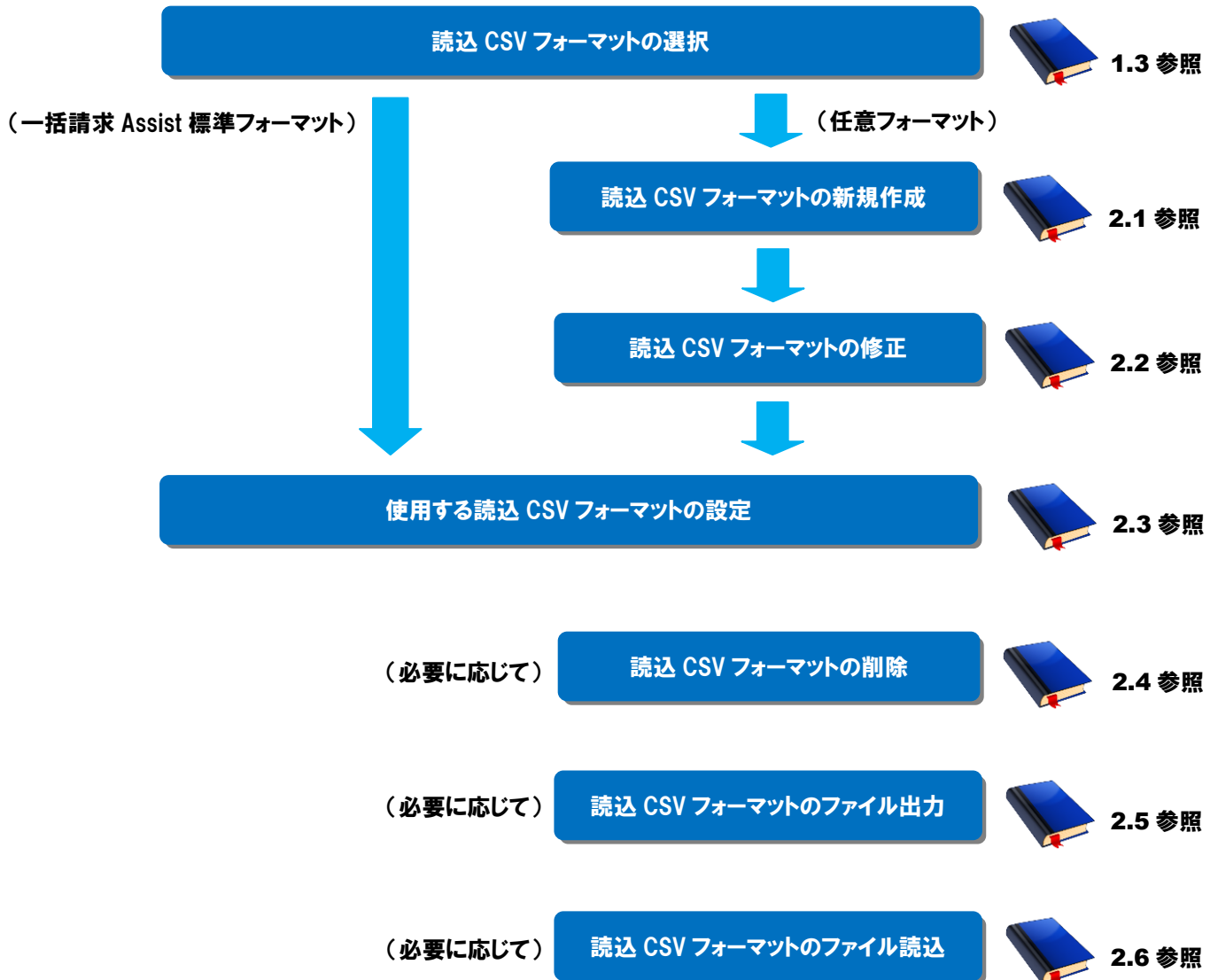
設定できるフォーマットは、一括請求 Assist 標準フォーマット（本ソフト標準のフォーマット）、もしくは任意フォーマット（項目の順序を自由に設定したフォーマット）となります。



---

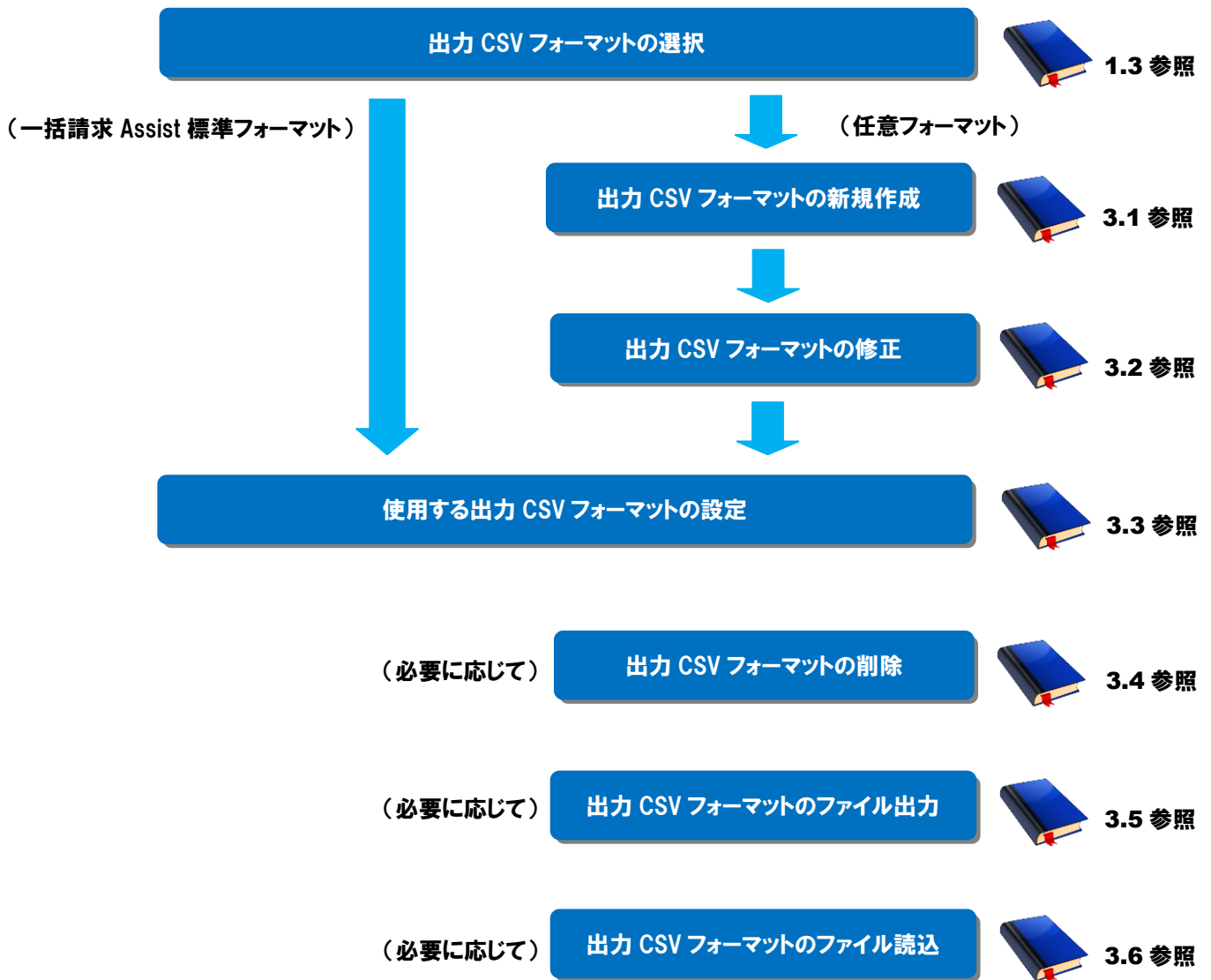
## 1.2 CSV フォーマット設定の流れ

📌 読込 CSV フォーマットの場合



---

✚ 出力 CSV フォーマットの場合





### 1.3 CSV フォーマットについて

本ソフトで設定できる CSV フォーマットの一覧を以下に示します。

(一括請求 Assist 標準フォーマットの内容については基本操作編「**6.3 CSV ファイルについて**」をご参照ください。)

#### 📌 読込 CSV フォーマット

No	フォーマット	概要	使用画面
1	一括請求Assist標準フォーマット	本ソフト標準のフォーマット（初期設定）です。本ソフトで指定した形式で CSV ファイルの読み込みができます。 「お客様にて特定の CSV ファイルをお持ちで無い場合」等にご使用ください。	発生記録（債務者）請求作成画面
			発生記録（債権者）請求作成画面
			譲渡記録請求作成画面
			譲渡記録請求作成（複数取引先）画面
2	任意フォーマット （最大4件まで追加可能）	お客様にて自由に設定可能なフォーマットです。お客様の CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付け（紐付け）、お客様指定の CSV ファイルの読み込みができます。 「お使いの会計ソフトの CSV ファイルがある場合」等にご使用ください。	発生記録（債務者）請求作成画面
			発生記録（債権者）請求作成画面
			譲渡記録請求作成画面
			譲渡記録請求作成（複数取引先）画面

#### 📌 出力 CSV フォーマット

No	フォーマット	概要	使用画面
1	一括請求Assist標準フォーマット	本ソフト標準のフォーマット（初期設定）です。本ソフトで指定した形式で CSV ファイルの出力ができます。 「お客様にて特定の CSV ファイルをお持ちで無い場合」等にご使用ください。	一括請求結果確認画面
			通知確認画面
2	任意フォーマット （最大4件まで追加可能）	お客様にて自由に設定可能なフォーマットです。お客様の CSV ファイルの項目と本ソフトで読み込む一括請求結果ファイル／通知ファイルを対応付け（紐付け）、お客様指定の CSV ファイルの出力ができます。 「お使いの会計ソフトの CSV ファイルがある場合」等にご使用ください。	一括請求結果確認画面
			通知確認画面

## 2 読込 CSV フォーマットの設定

### 2.1 読込 CSV フォーマットの新規作成

任意フォーマットで読込 CSV フォーマットを新規作成する方法を説明します。

#### 操作手順

##### 2.1.1 読込 CSV フォーマット を新規作成する

#### 操作方法

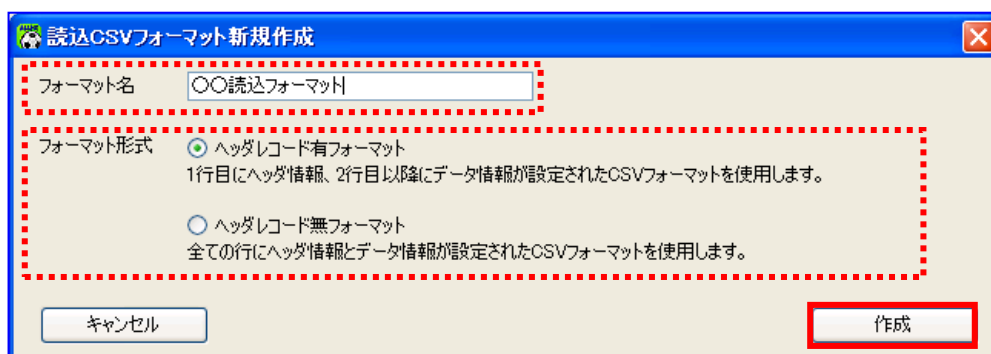
##### 2.1.1 読込 CSV フォーマットを新規作成する

📌 システム設定画面を開き、「読込 CSV 設定」の[新規作成]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '読込 CSV 設定' (Read CSV Settings) section is highlighted with a red dashed border. Within this section, the '使用フォーマット' (Use Format) dropdown is set to '一括請求 Assist 標準' (Batch Request Assist Standard). The '新規作成' (New) button is highlighted with a red box. Other buttons include '修正' (Modify), '削除' (Delete), 'ファイル読込' (Load File), and 'ファイル出力' (Export File). Below this, the '出力 CSV 設定' (Export CSV Settings) section is visible, with '一括請求ファイル' (Batch Request File) set to '出力しない' (Do not output).

- ✚ [新規作成]を押下すると、読込 CSV フォーマット新規作成画面が表示されます。  
フォーマット名を入力し、フォーマット形式を選択後、[作成]を押下します。

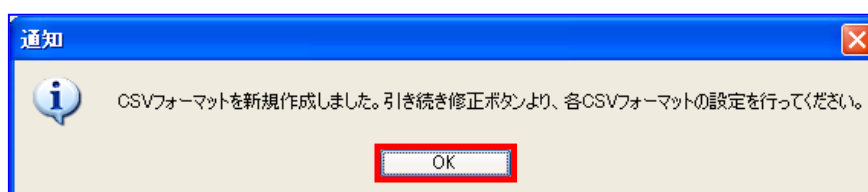
(フォーマット形式の詳細については「**4.1 読込 CSV フォーマットのフォーマット形式(ヘッダレコード有/ヘッダレコード無)**」をご参照ください。)



ヘッダレコード有フォーマットとは、1行目にヘッダ情報、2行目以降にデータ情報が設定された CSV ファイルを読込む場合に使用するフォーマットです。

ヘッダレコード無フォーマットとは、すべての行にヘッダ情報とデータ情報が設定された CSV ファイルを読込む場合に使用するフォーマットです。

- ✚ 正常に新規作成が完了すると、下記ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。



- ✚ 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。  
引き続き[修正]を押下し、各 CSV フォーマットの設定を行ってください。  
(修正については「**2.2 読込 CSV フォーマットの修正**」をご参照ください。)

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号  通常利用時  事務代行等での利用時  
利用者番号

ファイル出力先

座種別区分  別段を利用する  別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子  付与する  付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求  表示する  表示しない

譲渡記録設定情報

保証連伴有無  選択可(保証有り/無し)  選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力  入力する  入力しない

通知確認設定情報

予約通知  出力する  出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求ファイル  出力する  出力しない

一括請求結果ファイル  出力する  出力しない

通知ファイル  出力する  出力しない



任意フォーマットの CSV フォーマットを新規作成後、読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける（紐付ける）ための詳細設定を行う必要があります。  
引き続き[修正]を押下し、各 CSV フォーマットの設定を行ってください。

## 2.2 読込 CSV フォーマットの修正

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを修正する方法を説明します。

### 操作手順

#### 2.2.1 読込 CSV フォーマットを修正する

### 操作方法

#### 2.2.1 読込 CSV フォーマットを修正する

- システム設定画面を開き、修正する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[修正]を押下します。  
一括請求 Assist 標準フォーマットは修正できません。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '読込CSV設定' (Import CSV Settings) section is highlighted with a red dashed border. In this section, the '使用フォーマット' (Used Format) dropdown menu is set to '読込フォーマット' (Import Format), and the '修正' (Modify) button is highlighted with a red solid border. Other sections include '共通設定情報' (Common Settings Information), 'メニュー表示有無' (Menu Display On/Off), '譲渡記録設定情報' (Assignment Record Settings Information), and '通知確認設定情報' (Notification Confirmation Settings Information).

- ✚ フォーマット名を修正する場合は、フォーマット名を変更後、[更新]を押下します。CSV フォーマットの設定を行う場合は、対象フォーマットの [設定]を押下します。

[設定]を押下すると、読込 CSV フォーマット詳細設定画面が開きます。フォーマット形式が「ヘッダレコード有」の場合は「**2.2.1.1 ヘッダレコード有フォーマット**」を、「ヘッダレコード無」の場合は「**2.2.1.2 ヘッダレコード無フォーマット**」を引き続きご参照ください。

共通情報		
フォーマット名	読込フォーマット	
フォーマット形式	ヘッダレコード有	
		更新
読込CSVフォーマット		
発生記録(債務者)請求	設定	※未設定
発生記録(債権者)請求	設定	※未設定
譲渡記録請求	設定	※未設定
譲渡記録請求(複数取引先)	設定	※未設定
閉じる		



CSV フォーマットの設定を行うと、画面より「※未設定」の表示が消えます。各対象フォーマットの設定有無の状態については、「※未設定」の表示有無にてご確認ください。

### 2.2.1.1 ヘッダレコード有フォーマット

- 読込 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。  
読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行います。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名  フォーマット形式

対象ファイル

**① 利用者情報の自動設定有無**

利用者情報の自動設定有無  
 CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。  
 口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。  
 利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する  自動設定する  自動設定しない

債権者情報を取り先管理より自動設定する  自動設定する  自動設定しない

**② ヘッダレコード項目**

項目名	項目番号	固定値
種別コード		
発生記録(予定)日		
債務者情報_利用者番号		
債務者情報_債権者名		
債務者情報_金融機関コード		
債務者情報_支店コード		
債務者情報_口座種別		
債務者情報_口座番号		
債務者情報_利用者ID		

**③ データレコード項目**

項目名	項目番号	固定値
債務者情報_利用者番号		
債務者情報_債権者名		
債務者情報_金融機関コード		
債務者情報_支店コード		
債務者情報_口座種別		
債務者情報_口座番号		
債務者情報_利用者ID		
債権金額(円)		
支払期日		
譲渡制限有無 *1		
依頼人Ref. No.		

\*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、請求作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

検索

※上記サンプル画面は「読込 CSV フォーマット詳細設定画面／発生記録（債務者）請求」の画面です。

## ① 利用者情報の自動設定有無

利用者情報の自動設定有無をラジオボタンより選択してください。

(利用者情報の自動設定有無の詳細については「**4.4 読込 CSV フォーマットの利用者情報の自動設定機能について**」をご参照ください。)

### 利用者情報の自動設定有無

CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。  
口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。  
利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する

自動設定する  自動設定しない

債権者情報を取引先管理より自動設定する

自動設定する  自動設定しない



利用者情報の自動設定とは、  
読込む CSV ファイルに、一括請求ファイル作成に必要な情報である利用者情報（利用者番号、利用者名、口座情報）が不足している場合に、本ソフトの社内口座管理または取引先管理に登録された情報より自動設定する（上書き補完する）機能です。

## ② ヘッダレコード項目

ヘッダレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号（読込位置）または固定値を設定してください。

固定値を設定した場合は、項目番号（読込位置）は設定できません。

(項目番号（読込位置）の詳細については「**4.2 読込 CSV フォーマットの項目番号(読込位置)について**」、固定値の詳細については「**4.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について**」をご参照ください。)

項目名	項目番号	固定値
種別コード	1	
発生記録(予定)日	2	
債務者情報_利用者番号	3	
債務者情報_債務者名か	4	
債務者情報_金融機関コード	5	
債務者情報_支店コード	6	
債務者情報_口座種別		
債務者情報_口座番号		
債務者情報_利用者ID		



### ③ データレコード項目

データレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号（読込位置）または固定値を設定してください。

固定値を設定した場合は、項目番号（読込位置）は設定できません。

（項目番号（読込位置）の詳細については「[4.2 読込 CSV フォーマットの項目番号\(読込位置\)について](#)」、固定値の詳細については「[4.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について](#)」をご参照ください。）

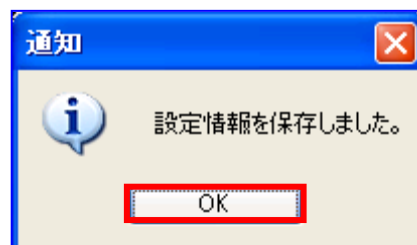
項目名	項目番号	固定値
債権者情報_利用者番号	1	
債権者情報_債権者名		
債権者情報_金融機関コード	2	
債権者情報_支店コード		
債権者情報_口座種別	3	
債権者情報_口座番号		
債権者情報_利用者ID		
債権金額 (円)	4	
支払期日	5	
譲渡制限有無 *1		1:有
依頼人Ref.No.	6	

- 設定を修正・変更後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。  
項目番号（読込位置）が未設定の項目（読込 CSV ファイルに存在しない項目）については、各請求作成画面にて CSV 読込みを行った後、画面にて任意の値を入力する必要があります。

- [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示され、[OK]を押下します。  
以上で CSV フォーマットの修正が完了になります。

引き続き、使用フォーマットの設定を行ってください。

(使用フォーマットの設定については「**2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定**」をご参照ください。)



## 2.2.1.2 ヘッダレコード無フォーマット

- 読込 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。  
読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行います。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名  フォーマット形式

対象ファイル

**① 利用者情報の自動設定有無**

利用者情報の自動設定有無

CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。  
口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。  
利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する  自動設定する  自動設定しない

債権者情報を取引先管理より自動設定する  自動設定する  自動設定しない

**② タイトル行有無**

タイトル行有無

読込CSVの1行目にタイトル行が設定されている場合、2行目から読込を開始することができます。

タイトル行有(2行目から読込)  タイトル行無(1行目から読込)

**③ データレコード項目**

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
発生記録(予定)日 *1		
債務者情報_利用者番号 *1		
債務者情報_債務者名 *1		
債務者情報_金融機関コード *1		
債務者情報_支店コード *1		
債務者情報_口座種別 *1		
債務者情報_口座番号 *1		
債務者情報_利用者ID *1		
債権者情報_利用者番号		
債権者情報_債権者名		
債権者情報_金融機関コード		

\*1 請求作成画面ヘッダ情報(読込CSVの全レコード、同一の値を設定してください。)

\*2 固定値を設定した場合、CSV読込の際、請求作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

検索   エラージャンプ

※上記サンプル画面は「読込 CSV フォーマット詳細設定画面／発生記録（債務者）請求」の画面です。

## ① 利用者情報の自動設定有無

利用者情報の自動設定有無をラジオボタンより選択してください。

(利用者情報の自動設定有無の詳細については「**4.4 読込 CSV フォーマットの利用者情報の自動設定機能について**」をご参照ください。)

### 利用者情報の自動設定有無

CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。  
口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。  
利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する

自動設定する  自動設定しない

債権者情報を取引先管理より自動設定する

自動設定する  自動設定しない



利用者情報の自動設定とは、  
読込む CSV ファイルに、一括請求ファイル作成に必要な情報である利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が不足している場合に、本ソフトの社内口座管理または取引先管理に登録された情報より自動設定する(上書き補完する)機能です。

## ② タイトル行有無

タイトル行有無をラジオボタンより選択してください。

(タイトル行有無の詳細については「**4.5 読込 CSV フォーマットのタイトル行有無について**」をご参照ください。)

### タイトル行有無

読込CSVの1行目にタイトル行が設定されている場合、2行目から読込を開始することができます。

タイトル行有(2行目から読込)  タイトル行無(1行目から読込)



ヘッダレコード無フォーマットの場合は、タイトル行有無を選択することができます。

「タイトル行有」を選択すると、読込 CSV ファイルの 2 行目から読込を開始します。  
「タイトル行無」を選択すると、読込 CSV ファイルの 1 行目から読込を開始します。

### ③ データレコード項目

データレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号（読込位置）または固定値を設定してください。

固定値を設定した場合は、項目番号（読込位置）は設定できません。

（項目番号（読込位置）の詳細については「[4.2 読込 CSV フォーマットの項目番号\(読込位置\)について](#)」、固定値の詳細については「[4.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について](#)」をご参照ください。）

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
発生記録(予定)日 *1	6	
債務者情報_利用者番号 *1	5	
債務者情報_債務者名か *1	4	
債務者情報_金融機関コード *1	3	
債務者情報_支店コード *1		
債務者情報_口座種別 *1	2	
債務者情報_口座番号 *1		
債務者情報_利用者ID *1		
債権者情報_利用者番号		
債権者情報_債権者名		
債権者情報_金融機関コード		

- 設定を修正・変更後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。  
項目番号（読込位置）が未設定の項目（読込 CSV ファイルに存在しない項目）については、各請求作成画面にて CSV 読込みを行った後、画面にて任意の値を入力する必要があります。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名  フォーマット形式

対象ファイル

**利用者情報の自動設定有無**

CSV読込の際、口座情報もしくは(利用者IDを条件に)利用者情報を自動設定することができます。  
口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。  
利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する  自動設定する  自動設定しない

債権者情報を取り先管理より自動設定する  自動設定する  自動設定しない

**タイトル行有無**

読込CSVの1行目にタイトル行が設定されている場合、2行目から読込を開始することができます。

タイトル行有(2行目から読込)  タイトル行無(1行目から読込)

**読込CSV項目設定**

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
発生記録(予定)日 *1	6	
債務者情報_利用者番号 *1	5	
債務者情報_債務者名が *1	4	
債務者情報_金融機関コード *1	3	
債務者情報_支店コード *1		
債務者情報_口座種別 *1	2	
債務者情報_口座番号 *1		
債務者情報_利用者ID *1		
債権者情報_利用者番号		
債権者情報_債権者名		
債権者情報_金融機関コード		

\*1 請求作成画面ヘッダ情報(読込CSVの全レコード、同一の値を設定してください。)  
\*2 固定値を設定した場合、CSV読込の際、請求作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

検索

- [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示され、[OK]を押下します。  
以上で CSV フォーマットの修正が完了になります。

引き続き、使用フォーマットの設定を行ってください。

(使用フォーマットの設定については「**2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定について**」をご参照ください。)

通知

設定情報を保存しました。

## 2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定

読込 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する方法を説明します。

### 操作手順

#### 2.3.1 読込 CSV フォーマット の使用フォーマット を設定する

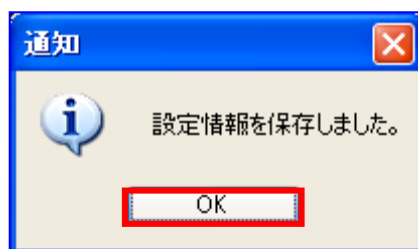
### 操作方法

#### 2.3.1 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する

✚ システム設定画面を開き、使用フォーマットをプルダウンより選択し、[保存]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '読込CSV設定' (Read CSV Settings) section is expanded. The '使用フォーマット' (Use Format) dropdown menu is set to '読込フォーマット' (Read Format) and is highlighted with a red dashed box. Below it, there are buttons for '修正' (Modify), '削除' (Delete), and '新規作成' (New). To the right of these buttons are 'ファイル読込' (File Read) and 'ファイル出力' (File Output) buttons. At the bottom right of the dialog, the '保存' (Save) button is highlighted with a red box. Other sections visible include '共通設定情報' (Common Settings), 'メニュー表示有無' (Menu Display), '譲渡記録設定情報' (Transfer Record Settings), and '通知確認設定情報' (Notification Confirmation Settings).

- 
- ✚ [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示され、[OK]を押下します。  
以上で使用フォーマットの設定が完了になります。



任意フォーマットの CSV フォーマットを新規作成した際、システム設定画面の使用フォーマットのプルダウンに、新規作成したフォーマット名が表示されていますが、本手順にて[保存]を押下するまでは使用フォーマットとして設定されませんのでご注意ください。



## 2.4 読込 CSV フォーマットの削除

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを削除する方法を説明します。

### 操作手順

#### 2.4.1 読込 CSV フォーマットを削除する

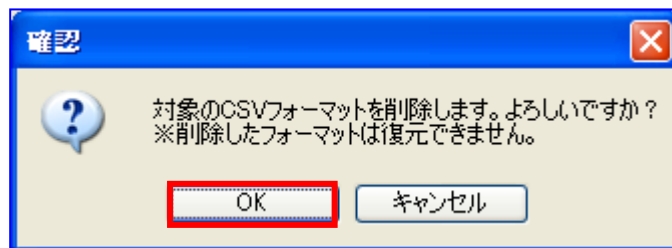
### 操作方法

#### 2.4.1 読込 CSV フォーマットを削除する

- ✚ 削除する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[削除]を押下します。一括請求 Assist 標準フォーマットは削除できません。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '読込CSV設定' (Import CSV Settings) section is expanded. The '使用フォーマット' (Used Format) dropdown menu is set to '読込フォーマット' (Import Format), which is highlighted with a red dashed box. To the right of the dropdown are buttons for '修正' (Modify), '削除' (Delete), and '新規作成' (New). The '削除' (Delete) button is highlighted with a red box. Below this section is the '出力CSV設定' (Output CSV Settings) section, which is not expanded. At the bottom of the dialog are 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons.

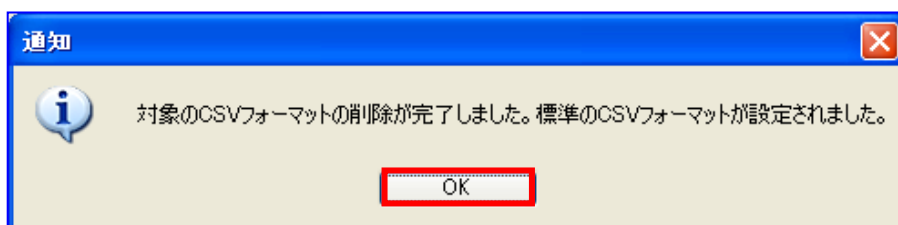
- 
- ✚ [削除]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。  
よろしければ、[OK]を押下します。



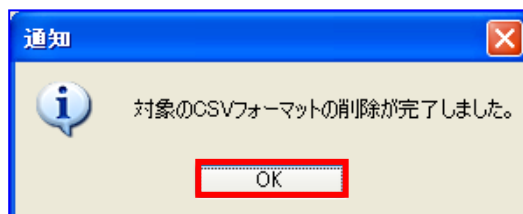
削除前にバックアップを取得するには、「**2.5 読込 CSV フォーマットのファイル出力**」をご参照ください。

- ✚ 正常に削除が完了すると、下記ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。  
使用フォーマットの設定により、表示されるダイアログが異なります。

- 使用フォーマットに設定している読込 CSV フォーマットを削除した場合



- 使用フォーマットに設定していない読込 CSV フォーマットを削除した場合



## 2.5 読込 CSV フォーマットのファイル出力

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットをファイル出力する方法を説明します。

出力した CSV フォーマットファイルは、バックアップ用または他の PC にインストールされた本ソフトでご利用いただけます。

### 操作手順

#### 2.5.1 読込 CSV フォーマット ファイルを出力する

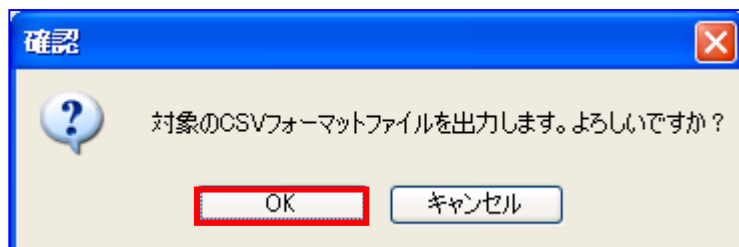
### 操作方法

#### 2.5.1 読込 CSV フォーマットファイルを出力する

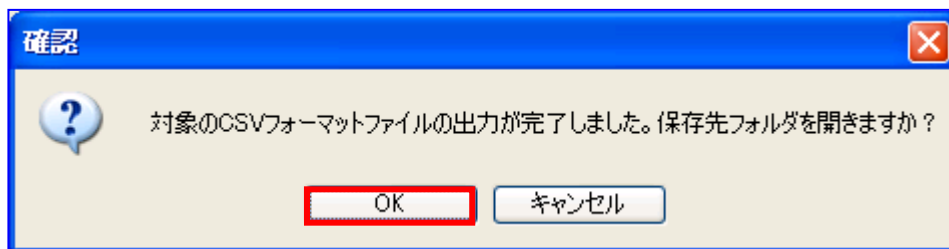
- システム設定画面を開き、出力する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[ファイル出力]を押下します。  
一括請求 Assist 標準フォーマットは出力できません。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '読込CSV設定' (Read CSV Settings) section is expanded. The '使用フォーマット' (Use Format) dropdown menu is set to '読込CSVフォーマット' (Read CSV Format) and is highlighted with a red dashed box. To the right of this dropdown are buttons for '修正' (Modify), '削除' (Delete), '新規作成' (New), 'ファイル読込' (File Load), and 'ファイル出力' (File Output). The 'ファイル出力' button is highlighted with a red solid box. Below this section is the '出力CSV設定' (Output CSV Settings) section, which is currently collapsed. At the bottom of the dialog are 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons.

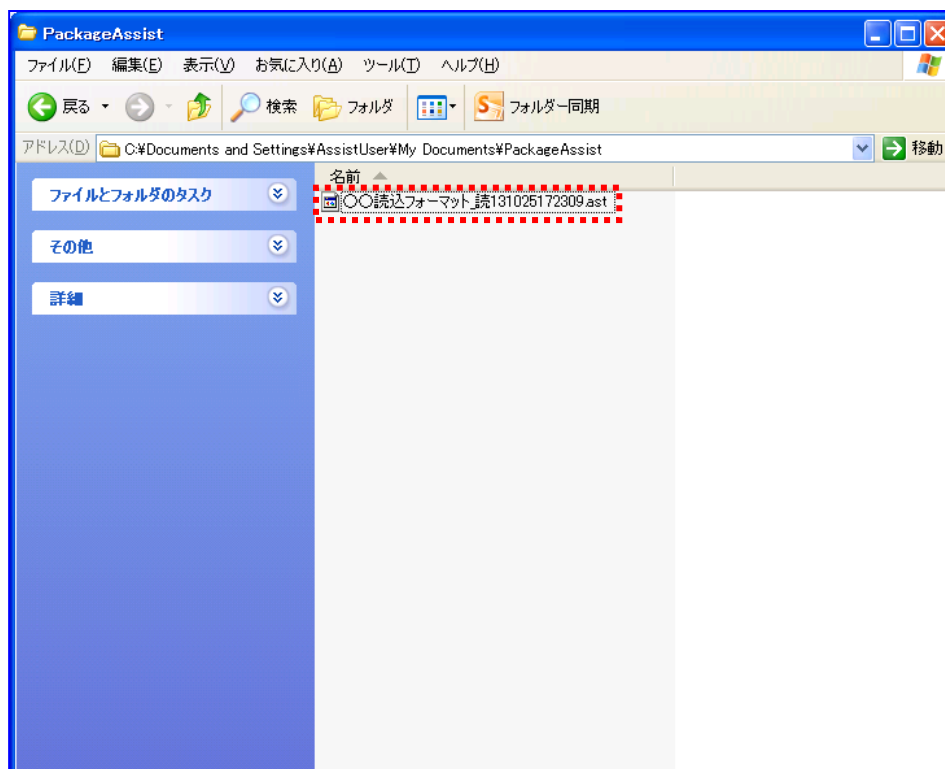
- 
- [ファイル出力]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。  
よろしければ、[OK]を押下します。



- 正常に出力が完了すると、下記ダイアログが表示されます。  
出力した CSV フォーマットファイルの保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



- ✚ 表示された保存先フォルダに、ファイルが作成されていることをご確認ください。



CSV フォーマットファイルの出力時に作成されるファイルは下記の通りです。

CSV フォーマットファイル：フォーマット名\_読 YYMMDDhhmmss.ast



出力したファイルは、CSV フォーマット情報のバックアップ用としてご利用ください。  
出力したファイルを読込むには、「**2.6 読込 CSV フォーマットのファイル読込み**」  
をご参照ください。

## 2.6 読込 CSV フォーマットのファイル読込み

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットのファイル読込みを行う方法を説明します。

「2.5 読込 CSV フォーマットのファイル出力」にて出力した CSV フォーマットファイルを本手順にて読込むことで、任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを追加することができます。

### 操作手順

#### 2.6.1 読込 CSV フォーマット ファイルを読込む

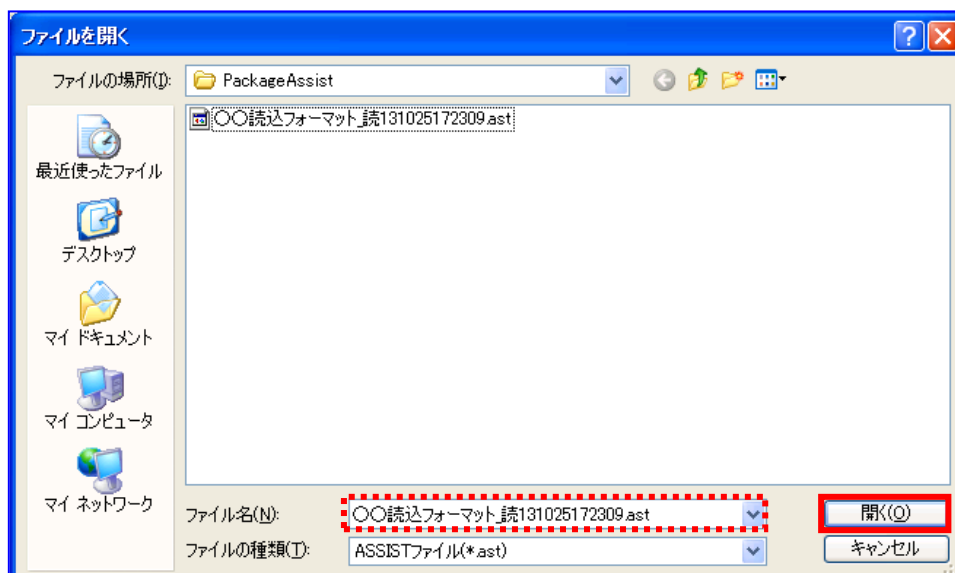
### 操作方法

#### 2.6.1 読込 CSV フォーマットファイルを読込む

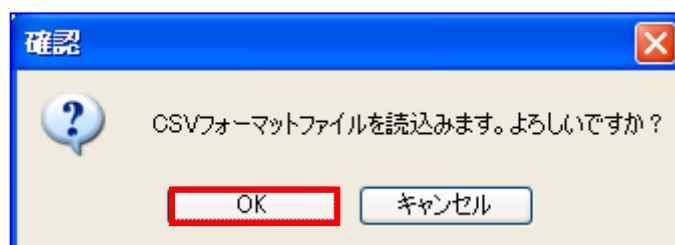
🔧 システム設定画面を開き、[ファイル読込]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '読込CSV設定' (Read CSV Settings) section is expanded, showing a dropdown menu for '使用フォーマット' (Used Format) set to '一括請求Assist標準' (Batch Request Assist Standard). To the right of the dropdown are buttons for '修正' (Modify), '削除' (Delete), '新規作成' (New), and 'ファイル読込' (File Read), which is highlighted with a red box. Further right is a 'ファイル出力' (File Output) button. Below this section is the '出力CSV設定' (Output CSV Settings) section, which includes options for '一括請求ファイル' (Batch Request File), '一括請求結果ファイル' (Batch Request Result File), and '通知ファイル' (Notification File), each with '出力する' (Output) or '出力しない' (Do not output) radio buttons. At the bottom of the dialog are 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons.

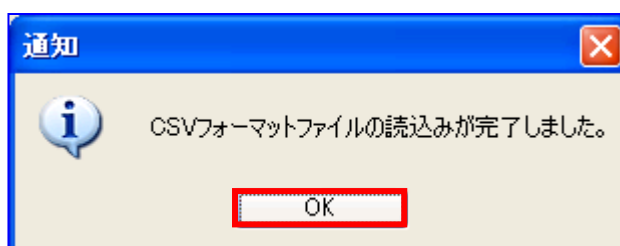
- [ファイル読込]を押下すると、ファイル選択ダイアログが表示されます。  
「**2.5 読込 CSV フォーマットのファイル出力**」にて出力した対象ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- [開く]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。  
よろしければ、[OK]を押下します。



- 正常に読込みが完了すると、下記ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。



- ✚ 使用フォーマットに読込んだフォーマット名が追加されます。  
(読込んだフォーマットを修正する場合は「**2.2 読込 CSV フォーマットの修正**」をご参照ください。)

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号  通常利用時  事務代行等での利用時  
利用者番号

ファイル出力先

口座種別区分  別段を利用する  別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子  付与する  付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求  表示する  表示しない

譲渡記録設定情報

保証連伴有無  選択可(保証有り/無し)  選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力  入力する  入力しない

通知確認設定情報

予約通知  出力する  出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求ファイル  出力する  出力しない

一括請求結果ファイル  出力する  出力しない

通知ファイル  出力する  出力しない



任意フォーマットの CSV フォーマットを読込んだ際、システム設定画面の使用フォーマットのプルダウンに、読込んだフォーマット名が表示されていますが、システム設定画面にて[保存]を押下するまでは使用フォーマットとして設定されませんのでご注意ください。  
使用フォーマットの設定については「**2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定**」をご参照ください。



## 3 出力 CSV フォーマットの設定

### 3.1 出力 CSV フォーマットの新規作成

任意フォーマットで出力 CSV フォーマットを新規作成する方法を説明します。

#### 操作手順

##### 3.1.1 出力 CSV フォーマット を新規作成する

#### 操作方法

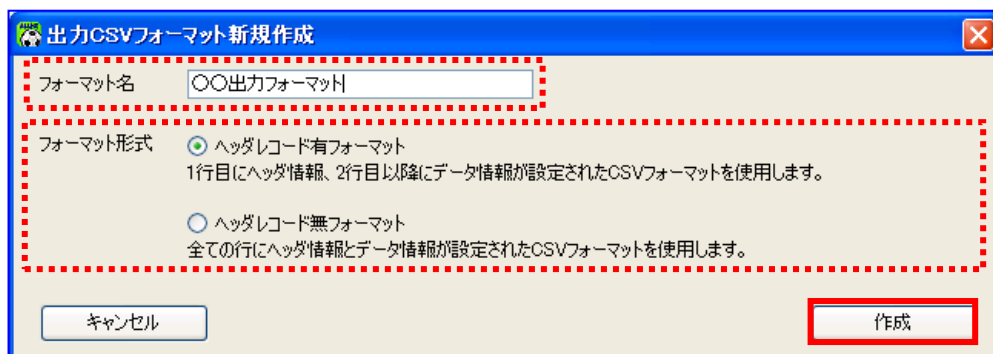
##### 3.1.1 出力 CSV フォーマットを新規作成する

🔗 システム設定画面を開き、「出力 CSV 設定」の[新規作成]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '出力CSV設定' (Output CSV Settings) section is highlighted with a red dashed border. In this section, the '使用フォーマット' (Use Format) dropdown is set to '一括請求Assist標準' (Batch Request Assist Standard). The '新規作成' (New) button is highlighted with a red box. Other buttons in this section include '修正' (Modify), '削除' (Delete), 'ファイル読込' (Load File), and 'ファイル出力' (Export File). Below this section, there are radio buttons for '一括請求ファイル' (Batch Request File), '一括請求結果ファイル' (Batch Request Result File), and '通知ファイル' (Notification File), with '出力しない' (Do not output) selected for the first two and '出力する' (Output) selected for the third. At the bottom of the dialog, there are 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons.

- ✚ [新規作成]を押下すると、出力 CSV フォーマット新規作成画面が表示されます。  
フォーマット名を入力し、フォーマット形式を選択後、[作成]を押下します。

(フォーマット形式の詳細については「**5.1 出力 CSV フォーマットのフォーマット形式(ヘッダレコード有/ヘッダレコード無)**」について)をご参照ください。)



出力CSVフォーマット新規作成

フォーマット名

フォーマット形式

ヘッダレコード有フォーマット  
1行目にヘッダ情報、2行目以降にデータ情報が設定されたCSVフォーマットを使用します。

ヘッダレコード無フォーマット  
全ての行にヘッダ情報とデータ情報が設定されたCSVフォーマットを使用します。

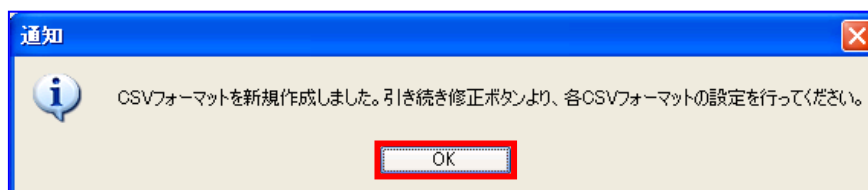
キャンセル 作成



ヘッダレコード有フォーマットとは、1行目にヘッダ情報、2行目以降にデータ情報が設定された CSV ファイルを読み込む場合に使用するフォーマットです。

ヘッダレコード無フォーマットとは、すべての行にヘッダ情報とデータ情報が設定された CSV ファイルを読み込む場合に使用するフォーマットです。

- ✚ 正常に新規作成が完了すると、下記ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。



通知

CSVフォーマットを新規作成しました。引き続き修正ボタンより、各CSVフォーマットの設定を行ってください。

OK

- ✚ 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。  
引き続き[修正]を押下し、各 CSV フォーマットの設定を行ってください。  
(修正については「**3.2 出力 CSV フォーマットの修正**」をご参照ください。)

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号  通常利用時  事務代行等での利用時  
利用者番号

ファイル出力先

座種別区分  別段を利用する  別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子  付与する  付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求  表示する  表示しない

読込記録設定情報

保証連伴有無  選択可(保証有り/無し)  選択不可(保証有りのみ)

全額読渡時の金額入力  入力する  入力しない

通知確認設定情報

予約通知  出力する  出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット  ○○出力フォーマット

一括請求結果ファイル  出力する  出力しない

通知ファイル  出力する  出力しない



任意フォーマットの CSV フォーマットを新規作成後、出力 CSV ファイルの項目と本ソフトで読込む一括請求結果ファイル/通知ファイルの項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行う必要があります。  
引き続き[修正]を押下し、各 CSV フォーマットの設定を行ってください。

## 3.2 出力 CSV フォーマットの修正

任意フォーマットの出力 CSV フォーマットを修正する方法を説明します。

### 操作手順

#### 3.2.1 出力 CSV フォーマット を修正する

### 操作方法

#### 3.2.1 出力 CSV フォーマットを修正する

- システム設定画面を開き、修正する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[修正]を押下します。  
一括請求 Assist 標準フォーマットは修正できません。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号  通常利用時  事務代行等での利用時  
利用者番号

ファイル出力先

座種別区分  別段を利用する  別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子  付与する  付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求  表示する  表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無  選択可(保証有り/無し)  選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力  入力する  入力しない

通知確認設定情報

予約通知  出力する  出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット  出力フォーマット

一括請求結果ファイル  出力する  出力しない

通知ファイル  出力する  出力しない

- ✚ フォーマット名、出力形式を修正する場合は、フォーマット名、出力形式を変更後、[更新]を押下します。

出力形式は、「日付形式」と「金額形式」をそれぞれ選択することができます。

一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、日付形式または金額形式に該当する項目について、選択した形式で出力ファイルに設定されます。

CSV フォーマットの設定を行う場合は、対象フォーマットの [設定]を押下します。

[設定]を押下すると、出力 CSV フォーマット詳細設定画面が開きます。

フォーマット形式が「ヘッダレコード有」の場合は「**3.2.1.1 ヘッダレコード有フォーマット**」を、「ヘッダレコード無」の場合は「**3.2.1.2 ヘッダレコード無フォーマット**」を引き続きご参照ください。

出力CSVフォーマット共通設定

共通情報

フォーマット名

フォーマット形式

出力形式

日付形式  YYYYMMDD  YYYY/MM/DD  YYYY/M/D

金額形式  カンマ有  カンマ無

更新

出力CSVフォーマット

一括請求結果  ※未設定

通知  ※未設定

閉じる



CSV フォーマットの設定を行うと、画面より「※未設定」の表示が消えます。  
各対象フォーマットの設定有無の状態については、「※未設定」の表示有無にてご確認ください。

### 3.2.1.1 ヘッダレコード有フォーマット

- 出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。  
出力 CSV ファイルの項目と本ソフトで読込む一括請求結果ファイル／通知ファイルの項目を対応付ける（紐付ける）ための詳細設定を行います。

※上記サンプル画面は「出力 CSV フォーマット詳細設定画面／一括請求結果」の画面です。

#### ① CSV 項目数

CSV 項目数を設定してください。

(CSV 項目数の詳細については「**5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)／CSV 項目数について**」をご参照ください。)

CSV項目数 100

## ② 利用者 ID の自動設定有無

利用者 ID の自動設定有無をラジオボタンより選択してください。

(利用者 ID の自動設定有無の詳細については「**5.4 出力 CSV フォーマットの利用者 ID の自動設定機能について**」をご参照ください。)

### 利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報\_利用者IDを社内口座管理より自動設定する

自動設定する

自動設定しない

義務者情報\_利用者ID、権利者情報\_利用者IDを  
社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する

自動設定する

自動設定しない



利用者 ID の自動設定とは、一括請求結果ファイルや通知ファイルには含まれない情報である利用者 ID を、出力する CSV ファイルに設定したい場合に、本ソフトの社内口座管理または取引先管理に登録された情報より自動設定する機能です。

## ③ ヘッダレコード項目

ヘッダレコード項目の各項目名を確認し、出力 CSV ファイルの項目番号（出力位置）を設定してください。なお、項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。

(項目番号（出力位置）の詳細については「**5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)/CSV 項目数について**」をご参照ください。)

ヘッダレコード項目  
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
種別コード	1	
通知作成日	2	
通知先情報_利用者番号	3	
通知先情報_通知先名か	4	
通知先情報_金融機関コード	5	
通知先情報_金融機関名か	6	
通知先情報_支店コード	7	
通知先情報_支店名か		
通知先情報_口座種別		
通知先情報_口座番号		



項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。CSV 項目数に項目番号（出力位置）の最大値が満たない場合は、CSV 項目数までカンマを付加して出力します。

#### ④ ヘッダレコード項目(任意項目)

ヘッダレコード項目（任意項目）の項目名、項目番号（出力位置）、固定値を設定してください。  
なお、項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。

（固定値の詳細については「**5.3 出力 CSV フォーマットの固定値設定機能について**」をご参照ください。）

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
追加項目 1	8	固定値 1
追加項目 2	9	固定値 2

#### ⑤ データレコード項目

データレコード項目の各項目名を確認し、出力 CSV ファイルの項目番号（出力位置）を設定してください。  
なお、項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。

（項目番号（出力位置）の詳細については「**5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)/CSV 項目数について**」をご参照ください。）

データレコード項目  
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
データレコード区分	1	
義務者情報_義務者名	2	
義務者情報_金融機関コード	3	
義務者情報_金融機関名か	4	
義務者情報_支店コード	5	
義務者情報_支店名か	6	
義務者情報_口座種別	7	
義務者情報_口座番号		
義務者情報_利用者ID		
権利者情報_権利者名		



## ⑥ データレコード項目(任意項目)

データレコード項目 (任意項目) の項目名、項目番号 (出力位置)、固定値を設定してください。  
 なお、項目番号 (出力位置) には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。

(固定値の詳細については「**5.3 出力 CSV フォーマットの固定値設定機能について**」をご参照ください。)

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
追加項目 1	8	固定値 1
追加項目 2	9	固定値 2

設定を修正・変更後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。

出力CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名: ○○出力フォーマット      フォーマット形式: ヘッダレコード有  
 対象ファイル: 一括請求結果      CSV項目数: 100

利用者IDの自動設定有無  
 CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。  
 通知先情報\_利用者IDを社内口座管理より自動設定する     自動設定する     自動設定しない  
 義務者情報\_利用者ID、権利者情報\_利用者IDを社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する     自動設定する     自動設定しない

出力CSV項目設定

ヘッダレコード項目  
 各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
種別コード	1	
通知作成日	2	
通知先情報_利用者番号	3	
通知先情報_通知先名か	4	
通知先情報_金融機関コード	5	
通知先情報_金融機関名か	6	
通知先情報_支店コード	7	
通知先情報_支店名か		
通知先情報_口座種別		
通知先情報_口座番号		

データレコード項目  
 各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
データレコード区分	1	
義務者情報_義務者名	2	
義務者情報_金融機関コード	3	
義務者情報_金融機関名か	4	
義務者情報_支店コード	5	
義務者情報_支店名か	6	
義務者情報_口座種別	7	
義務者情報_口座番号		
義務者情報_利用者ID		
権利者情報_権利者名		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
追加項目 1	8	固定値 1
追加項目 2	9	固定値 2

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
追加項目 1	8	固定値 1
追加項目 2	9	固定値 2

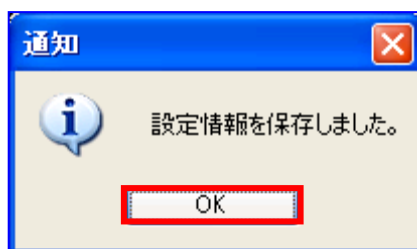
検索:  検索      エラージャンプ:

キャンセル

- 
- ✚ [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示され、[OK]を押下します。  
以上で CSV フォーマットの修正が完了になります。

引き続き、使用フォーマットの設定を行ってください。

(使用フォーマットの設定については「**3.3 出力 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定**」をご参照ください。)



### 3.2.1.2 ヘッダレコード無フォーマット

- 出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。  
出力 CSV ファイルの項目と本ソフトで読込む一括請求結果ファイル／通知ファイルの項目を対応付ける（紐付ける）ための詳細設定を行います。

The screenshot shows the 'Output CSV Format Detailed Setting' dialog box. It is titled '出力CSVフォーマット詳細設定'. The 'Format Name' is '○○出力フォーマット' and the 'Format Type' is 'ヘッダレコード無'. The 'Target File' is '一括請求結果'. The 'CSV Item Count' is set to 1, highlighted by a red box labeled '① CSV 項目数'. Below this, there are sections for 'Automatic Setting of User ID' (highlighted by a red box labeled '② 利用者 ID の自動設定有無'), 'Title Row' (highlighted by a red box labeled '③ タイトル行有無'), and 'Output CSV Item Setting'. The 'Output CSV Item Setting' section contains a table with columns 'Item Name', 'Item Number', and 'Fixed Value'. The table lists several items, with the first one highlighted by a red box labeled '④ データレコード項目'. Below the table, there is another table for setting fixed values (highlighted by a red box labeled '⑤ データレコード項目(任意項目)'). At the bottom, there are search and error handling buttons, and 'Cancel' and 'Save' buttons.

項目名	項目番号	固定値
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名か *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名か *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1		
通知先情報_口座種別 *1		

項目名	項目番号	固定値

※上記サンプル画面は「出力 CSV フォーマット詳細設定画面／一括請求結果」の画面です。

### ① CSV 項目数

CSV 項目数を設定してください。

(CSV 項目数の詳細については「**5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)/CSV 項目数について**」をご参照ください。)

CSV項目数	100
--------	-----

### ② 利用者 ID の自動設定有無

利用者 ID の自動設定有無をラジオボタンより選択してください。

(利用者 ID の自動設定有無の詳細については「**5.4 出力 CSV フォーマットの利用者 ID の自動設定機能について**」をご参照ください。)

#### 利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報\_利用者IDを社内口座管理より自動設定する

自動設定する

自動設定しない

義務者情報\_利用者ID、権利者情報\_利用者IDを  
社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する

自動設定する

自動設定しない



利用者 ID の自動設定とは、一括請求結果ファイルや通知ファイルには含まれない情報である利用者 ID を、出力する CSV ファイルに設定したい場合に、本ソフトの社内口座管理または取引先管理に登録された情報より自動設定する機能です。

### ③ タイトル行有無

タイトル行有無をラジオボタンより選択してください。

(タイトル行有無の詳細については「**5.5 出力 CSV フォーマットのタイトル行有無について**」をご参照ください。)

#### タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する

設定する

設定しない



ヘッダレコード無フォーマットの場合は、タイトル行有無を選択することができます。

「タイトル行有」を選択すると、出力 CSV ファイルの 1 行目にタイトル行 (項目名) を設定し、2 行目以降にレコードを設定します。

「タイトル行無」を選択すると、出力 CSV ファイルのタイトル行 (項目名) は設定されず、1 行目からレコードを設定します。

#### ④ データレコード項目

データレコード項目の各項目名を確認し、出力 CSV ファイルの項目番号（出力位置）を設定してください。  
なお、項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。

（項目番号（出力位置）の詳細については「**5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)/CSV 項目数について**」をご参照ください。）

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
通知作成日 *1	6	
通知先情報_利用者番号 *1	5	
通知先情報_通知先名か *1	4	
通知先情報_金融機関コード *1	3	
通知先情報_金融機関名か *1	2	
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1	1	
通知先情報_口座種別 *1		



項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。  
CSV 項目数に項目番号（出力位置）の最大値が満たない場合は、CSV 項目数までカンマを付加して出力します。

#### ⑤ データレコード項目(任意項目)

データレコード項目（任意項目）の項目名、項目番号（出力位置）、固定値を設定してください。  
なお、項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。

（固定値の詳細については「**5.3 出力 CSV フォーマットの固定値設定機能について**」をご参照ください。）

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

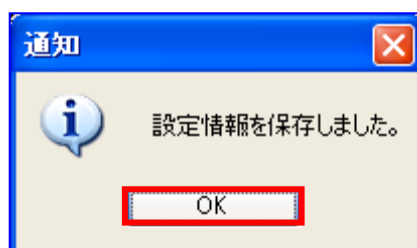
項目名	項目番号	固定値
追加項目 1	7	固定値 1
追加項目 2	8	固定値 2

- 設定を修正・変更後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。

- [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示され、[OK]を押下します。  
以上で CSV フォーマットの修正が完了になります。

引き続き、使用フォーマットの設定を行ってください。

(使用フォーマットの設定については「**3.3 出力 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定**」をご参照ください。)



### 3.3 出力 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定

出力 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する方法を説明します。

#### 操作手順

##### 3.3.1 出力 CSV フォーマット の使用フォーマット を設定する

#### 操作方法

##### 3.3.1 出力 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する

- システム設定画面を開き、使用フォーマットをプルダウンより選択し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号  通常利用時  事務代行等での利用時  
利用者番号

ファイル出力先

座種別区分  別段を利用する  別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子  付与する  付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求  表示する  表示しない

譲渡記録設定情報

保証連伴有無  選択可(保証有り/無し)  選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力  入力する  入力しない

通知確認設定情報

予約通知  出力する  出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット  出力フォーマット

一括請求結果ファイル  出力する  出力しない

通知ファイル  出力する  出力しない

- 
- ✚ [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示され、[OK]を押下します。  
以上で使用フォーマットの設定が完了になります。



任意フォーマットのCSVフォーマットを新規作成した際、システム設定画面の使用フォーマットのプルダウンに、新規作成したフォーマット名が表示されていますが、本手順にて[保存]を押下するまでは使用フォーマットとして設定されませんのでご注意ください。



## 3.4 出力 CSV フォーマットの削除

任意フォーマットの出力 CSV フォーマットを削除する方法を説明します。

### 操作手順

#### 3.4.1 出力 CSV フォーマットを削除する

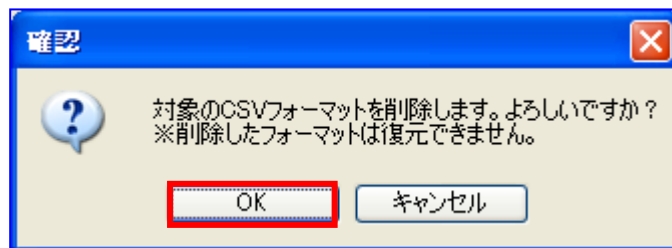
### 操作方法

#### 3.4.1 出力 CSV フォーマットを削除する

- ✚ 削除する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[削除]を押下します。一括請求 Assist 標準フォーマットは削除できません。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '出力CSV設定' (Output CSV Settings) section is expanded, showing a dropdown menu for '使用フォーマット' (Used Format) with '〇〇出力フォーマット' selected. The '削除' (Delete) button is highlighted with a red box. Other buttons include '修正' (Modify), '新規作成' (New), 'ファイル読込' (Load File), and 'ファイル出力' (Output File). The '一括請求 Assist 標準' (Batch Request Assist Standard) format is also visible in the dropdown above.

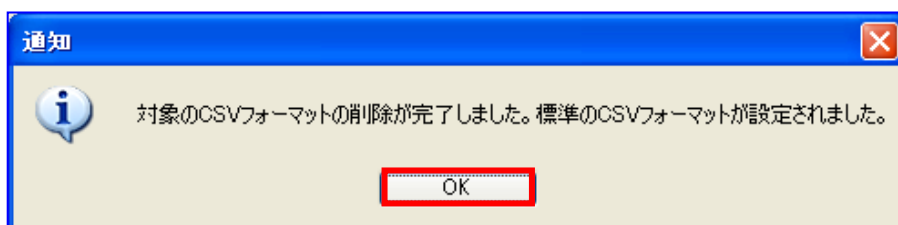
- 
- ✚ [削除]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。  
よろしければ、[OK]を押下します。



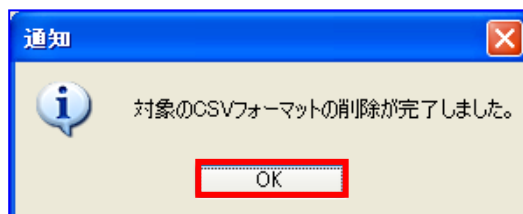
削除前にバックアップを取得するには、「**3.5 出力 CSV フォーマットのファイル出力**」をご参照ください。

- ✚ 正常に削除が完了すると、下記ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。  
使用フォーマットの設定により、表示されるダイアログが異なります。

- ・使用フォーマットに設定した出力 CSV フォーマットを削除した場合



- ・使用フォーマットに設定していない出力 CSV フォーマットを削除した場合



## 3.5 出力 CSV フォーマットのファイル出力

任意フォーマットの出力 CSV フォーマットをファイル出力する方法を説明します。

出力した CSV フォーマットファイルは、バックアップ用または他の PC にインストールされた本ソフトでご利用いただけます。

### 操作手順

#### 3.5.1 出力 CSV フォーマット ファイルを出力する

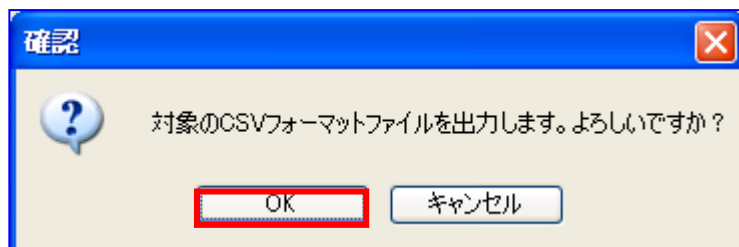
### 操作方法

#### 3.5.1 出力 CSV フォーマットファイルを出力する

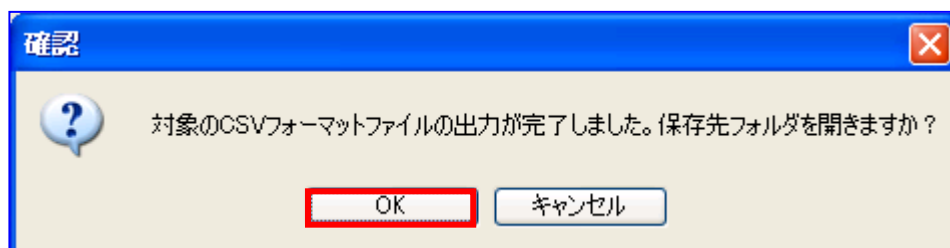
- システム設定画面を開き、出力する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[ファイル出力]を押下します。  
一括請求 Assist 標準フォーマットは出力できません。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '出力CSV設定' (Output CSV Settings) section is highlighted with a red dashed box. In this section, the '使用フォーマット' (Use Format) dropdown menu is set to '○○出力フォーマット'. The 'ファイル出力' (File Output) button is highlighted with a red solid box. Other sections include '共通設定情報', 'メニュー表示有無', '譲渡記録設定情報', and '通知確認設定情報'.

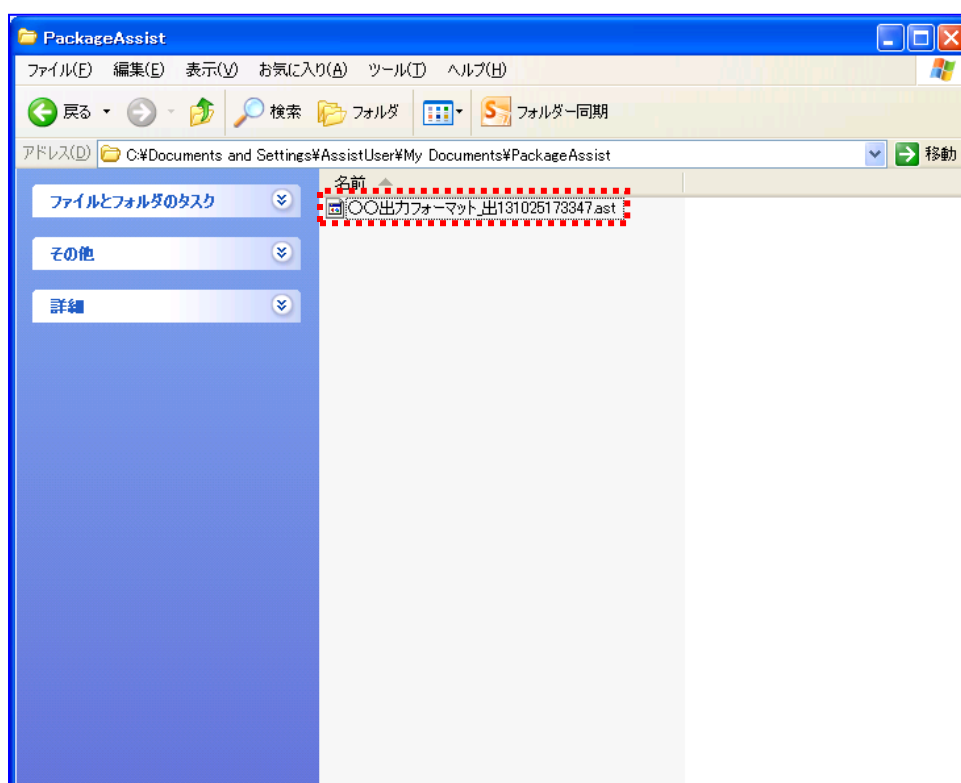
- 
- ✚ [ファイル出力]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。  
よろしければ、[OK]を押下します。



- ✚ 正常に出力が完了すると、下記ダイアログが表示されます。  
出力した CSV フォーマットファイルの保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



- ✚ 表示された保存先フォルダに、ファイルが作成されていることをご確認ください。



CSV フォーマットファイルの出力時に作成されるファイルは下記の通りです。

CSV フォーマットファイル：フォーマット名\_出 YYMMDDhhmmss.ast



出力したファイルは、CSV フォーマット情報のバックアップ用としてご利用ください。  
出力したファイルを読込むには、「**3.6 出力 CSV フォーマットのファイル読み込み**」  
をご参照ください。

## 3.6 出力 CSV フォーマットのファイル読込み

任意フォーマットの出力 CSV フォーマットのファイル読込みを行う方法を説明します。

「**3.5 出力 CSV フォーマットのファイル出力**」にて出力した CSV フォーマットファイルを本手順にて読込むことで、任意フォーマットの出力 CSV フォーマットを追加することができます。

### 操作手順

#### 3.6.1 出力 CSV フォーマット ファイルを読込む

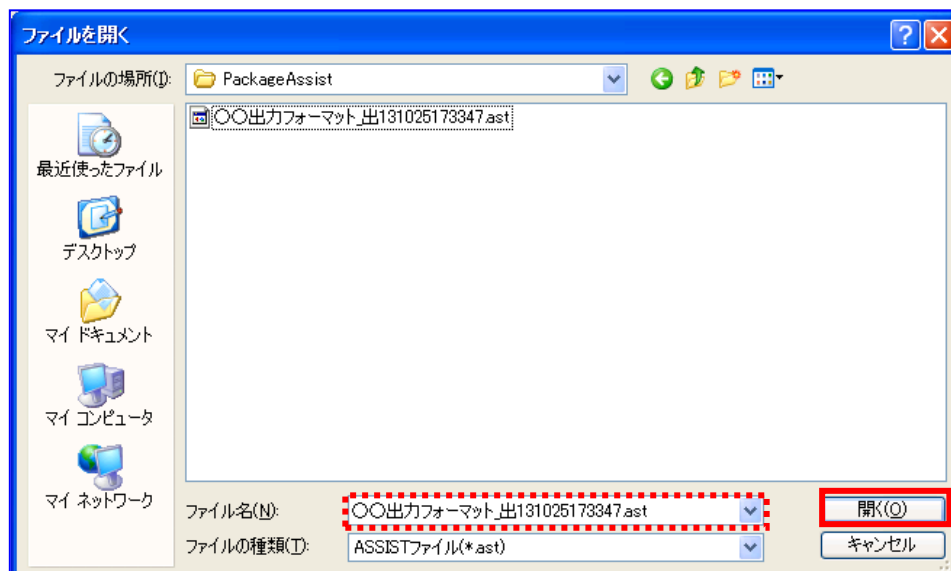
### 操作方法

#### 3.6.1 出力 CSV フォーマットファイルを読込む

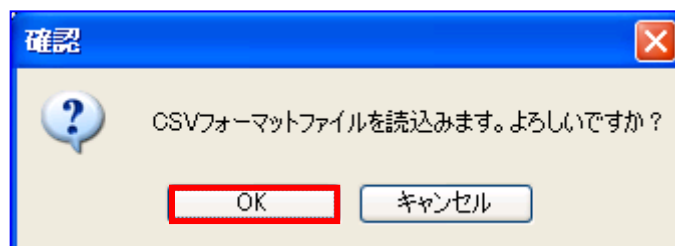
🔗 システム設定画面を開き、[ファイル読込]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '読込CSV設定' (Read CSV Settings) section is expanded, showing a dropdown menu set to '一括請求Assist標準' (Batch Request Assist Standard). To the right of the dropdown are buttons for '修正' (Modify), '削除' (Delete), '新規作成' (New), 'ファイル読込' (File Read), and 'ファイル出力' (File Output). The 'ファイル読込' button is highlighted with a red box. Below this section is the '出力CSV設定' (Output CSV Settings) section, which also has a dropdown menu set to '一括請求Assist標準' and buttons for '修正', '削除', '新規作成', 'ファイル読込', and 'ファイル出力'. At the bottom of the dialog are 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons.

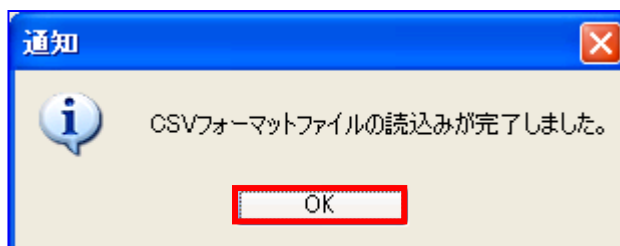
- [ファイル読込]を押下すると、ファイル選択ダイアログが表示されます。  
「**3.5 出力 CSV フォーマットのファイル出力**」にて出力した対象ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- [開く]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。  
よろしければ、[OK]を押下します。



- 正常に読み込みが完了すると、下記ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。



- ✚ 使用フォーマットに読込んだフォーマット名が追加されます。  
(読込んだフォーマットを修正する場合は「**3.2 出力 CSV フォーマットの修正**」をご参照ください。)

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号  通常利用時  事務代行等での利用時  
利用者番号

ファイル出力先  参照

口座種別区分  別段を利用する  別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子  付与する  付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求  表示する  表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無  選択可(保証有り/無し)  選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力  入力する  入力しない

通知確認設定情報

予約通知  出力する  出力しない

読み込CSV設定

使用フォーマット  修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット  ○○出力フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求結果ファイル  出力する  出力しない

通知ファイル  出力する  出力しない

キャンセル 保存



任意フォーマットの CSV フォーマットを読込んだ際、システム設定画面の使用フォーマットのプルダウンに、読込んだフォーマット名が表示されていますが、システム設定画面にて[保存]を押下するまでは使用フォーマットとして設定されませんのでご注意ください。  
使用フォーマットの設定については「**3.3 出力 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定**」をご参照ください。



## 4 補足事項(読込CSVフォーマット設定)

### 4.1 読込 CSV フォーマットのフォーマット形式(ヘッダレコード有/ヘッダレコード無)について

本ソフトでは、任意フォーマットとして使用する場合、2種類の読込 CSV フォーマット形式を選択できます。

#### 4.1.1 ヘッダレコード有フォーマット

ヘッダレコード有フォーマットとは、1行目にヘッダ情報、2行目以降にデータ情報が設定された CSV ファイルを読込む場合に使用するフォーマットです。

各請求作成画面にて CSV 読込みを行う際、ヘッダ情報は各請求画面のヘッダ情報部に、データ情報は各請求画面のデータ情報部に反映されます。

発生記録(債務者)請求にてヘッダレコード有フォーマットを使用した場合の例を以下に示します。

■ 読込CSVファイル (ヘッダレコード有フォーマット)

ヘッダレコード	ヘッダ情報
	51,20130712,A00000001,シナリカパシキカシヤ,0000,001,2,1100000
データレコード	データ情報
	B00000001,豊洲株式会社1,9999,001,2,1100001,9999999999,20140401,0,REF.NO.000001
	B00000001,豊洲株式会社2,9999,001,2,1100002,9999999999,20140401,0,REF.NO.000002
	B00000001,豊洲株式会社3,9999,001,2,1100003,9999999999,20140401,0,REF.NO.000003

■ 請求作成画面

発生記録(債務者)請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 【CSV読込用サンプル】 01.発生記録(債務者)請求用CSVファイル.csv

発生記録(予定)日\* 2019/07/12

債務者(請求者)情報

利用者番号\* 呼出 A00000001 債務者 利用者番号\* シナリカパシキカシヤ 債務者 全額振込コード\* 0000 支店コード\* 001 口座種別\* 2:当座 口座番号\* 1100000

ヘッダ情報部

詳細	読込 No	債務者 利用者番号*	債務者名**	債務者 全額振込コード*	債務者 支店コード*	債務者 口座種別*	債務者 口座番号
1	読込	B00000001	豊洲株式会社 1	9999	001	2:当座	1110001
2	読込	B00000002	豊洲株式会社 2	9999	001	2:当座	1110002
3	読込	B00000003	豊洲株式会社 3	9999	001	2:当座	1110003

データ情報部

合計件数(件) 3  
合計金額(円) 2,999,999,997

\*必須項目 \*\*一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

#### 4.1.2 ヘッダレコード無フォーマット

ヘッダレコード無フォーマットとは、すべての行にヘッダ情報とデータ情報が設定された CSV ファイルを読み込む場合に使用するフォーマットです。

各請求作成画面にて CSV 読み込みを行う際、ヘッダ情報は各請求画面のヘッダ情報部に、データ情報は各請求画面のデータ情報部に反映されます。

発生記録(債務者)請求にてヘッダレコード無フォーマットを利用した場合の例を以下に示します。

■ 読み込み CSV ファイル (ヘッダレコード無フォーマット)

ヘッダ情報		データ情報	
201	30712,A00000001,シカワカブシキガイシャ,0000,001,2,110	B00000001,豊洲株式会社1,9999,001,2,1100001,9999999999,201	40401,0,REF.NO.000001
201	30712,A00000001,シカワカブシキガイシャ,0000,001,2,110	B00000001,豊洲株式会社2,9999,001,2,1100002,9999999999,201	40401,0,REF.NO.000002
201	30712,A00000001,シカワカブシキガイシャ,0000,001,2,110	B00000001,豊洲株式会社3,9999,001,2,1100003,9999999999,201	40401,0,REF.NO.000003
201	30712,A00000001,シカワカブシキガイシャ,0000,001,2,110	B00000001,豊洲株式会社4,9999,001,2,1100004,9999999999,201	40401,0,REF.NO.000004

データレコード

■ 請求作成画面

発生記録(債務者)請求作成

一括請求ファイル読み込み CSV読み込み 総合振込データ一括読み込み 対象ファイル 【CSV読み込み用サンプル】 01.発生記録(債務者)請求用CSVファイル.csv

発生記録(予定)日\* 2013/07/12

債務者(請求者)情報

ヘッダ情報部

利用者番号\* 呼出 A00000001 債務者名\* シカワカブシキガイシャ 債権者金融機関コード\* 0000 債権者支店コード\* 001 債権者口座種別\* 2:当座 債権者口座番号\* 1100000

債務者(取引先)情報/債権情報

詳細	読み込み No	債権者利用者番号*	債権者名**	債権者金融機関コード*	債権者支店コード*	債権者口座種別*	債権者口座番号
1 詳細	1	B00000001	豊洲株式会社 1	9999	001	2:当座	1110001
2 詳細	2	B00000002	豊洲株式会社 2	9999	001	2:当座	1110002
3 詳細	3	B00000003	豊洲株式会社 3	9999	001	2:当座	1110003
4 詳細	4	B00000004	豊洲株式会社 4	9999	001	2:当座	1110004

データ情報部

合計件数(件) 4  
合計金額(円) 3,999,999,996

\*必須項目 \*\*一括請求ファイル出力対象外項目

一括請求ファイル作成



フォーマット形式が「ヘッダレコード無」の場合、読み込み CSV ファイルのヘッダ情報は全レコード同一の値を設定してください。  
同一の値でない場合、ヘッダ情報が特定できないため、読み込むことができません。

## 4.2 読込 CSV フォーマットの項目番号(読込位置)について

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを使用する場合、項目番号(読込位置)を設定することで、項目の読込順を自由に設定することができます。

各請求作成画面にて CSV 読込みを行う際、CSV フォーマットの項目番号(読込位置)の設定を基に、各項目をマッピングして読込みます。

発生記録(債務者)請求にて読込 CSV フォーマットの項目番号(読込位置)を設定した場合の例を以下に示します。

**読込CSVファイル**

```
001.A00000001.シナガワアソシエイツ.0000.2.1110000
1      2      3      4 5 6 ヘッダレコード
1110001.2.001.9999.豊洲株式会社.1.B00000001
1      2 3 4      5      6 データレコード
```

**読込CSVフォーマット設定**

項目名	項目番号	固定値
種別コード		
発生記録(予定)日		
債務者情報_利用者番号	2	
債務者情報_債務者名	3	
債務者情報_金融機関コード	4	
債務者情報_支店コード	1	
債務者情報_口座種別	5	
債務者情報_口座番号	6	
債務者情報_利用者ID		

項目名	項目番号	固定値
債務者情報_利用者番号	6	
債務者情報_債務者名	5	
債務者情報_金融機関コード	4	
債務者情報_支店コード	3	
債務者情報_口座種別	2	
債務者情報_口座番号	1	
債務者情報_利用者ID		
債権金額(円)		
支払期日		
読込制御有無 *1	1:有	
依頼人Ref.No.		

**CSV読込**

**■ヘッダレコード**

読込CSVファイル	CSVフォーマット設定
1 001	種別コード (なし)
2 A00000001	発生記録(予定)日 (なし)
3 シナガワアソシエイツ	利用者番号 → A00000001
4 0000	債務者名 → シナガワアソシエイツ
5 2	金融機関コード → 0000
6 1110000	支店コード → 001
	口座種別 → 2
	口座番号 → 1110000
	利用者ID (なし)

**■データレコード**

読込CSVファイル	CSVフォーマット設定
1 1110001	利用者番号 → B00000001
2 2	債務者名 → 豊洲株式会社 1
3 001	金融機関コード → 9999
4 9999	支店コード → 001
5 豊洲株式会社	口座種別 → 2
6 B00000001	口座番号 → 1110001
	利用者ID (なし)
	債権金額 (なし)
	支払期日 (なし)

**マッピング**

**発生記録(債務者)請求作成**

CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 発生記録(債務者)請求20190703179901 CSV.csv

発生記録(予定)日\* 2019/07/03

債務者(請求者)情報

利用者番号*	債務者名	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
呼出 A00000001	シナガワアソシエイツ	0000	001	2:当座	1110000

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者利用者番号*	債権者名**	債権者金融機関コード*	債権者支店コード*	債権者口座種別*	債権者口座番号
▶ 1	詳細	B00000001	豊洲株式会社 1	9999	001	2:当座	1110001

行ジャンプ 検索 エラージャンプ 合計件数(件) 1 合計金額(円) 1,110,001

\*必須項目 \*\*一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

### 4.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを使用する場合、一部の項目に固定値を設定することができます。設定した固定値は、各請求作成画面にて CSV 読込みを行う際、一律初期値として設定されます。

発生記録(債務者)請求にて固定値を設定した場合の例を以下に示します。

**読込CSVフォーマット設定**

CSV  
ファイル

↓

CSV読込

項目名	項目番号	固定値
債権者情報_利用者番号	6	
債権者情報_債権者名	5	
債権者情報_金融機関コード	4	
債権者情報_支店コード	3	
債権者情報_口座種別	2	
債権者情報_口座番号	1	
債権者情報_利用者ID		
債権金額 (円)		
支払期日		
譲渡制限有無 *1		1:有
依頼人Ref.No.		

・各 CSV フォーマットにおいて固定値が設定可能である項目および設定値の一覧を以下に示します。

No	フォーマット	固定値が設定可能である項目	設定値	備考
1	発生記録(債務者)請求用CSVフォーマット	譲渡制限有無	0:無 1:有	
2	発生記録(債権者)請求用CSVフォーマット	譲渡制限有無	0:無 1:有	
3	譲渡記録請求用CSVフォーマット	保証随伴有無	0:無 1:有	システム設定にて、保証随伴有無を「選択不可」に設定している場合は、「0:無」は設定できません。
4	譲渡記録請求(複数取引先)用CSVフォーマット	保証随伴有無	0:無 1:有	(保証随伴有無の設定変更については、基本操作編「 <b>2.16 システム設定画面</b> 」をご参照ください。)

## 4.4 読込 CSV フォーマットの利用者情報の自動設定機能について

各請求作成画面にて CSV 読込みを行う際、CSV ファイルに設定された口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）もしくは利用者 ID を条件に、本ソフトの社内口座管理・取引先管理に登録した利用者情報を対応付けて（紐付けて）画面上に自動設定（上書き補完）することができます。

口座情報の項目番号を条件に指定した場合は、利用者情報（利用者番号、利用者名）が自動設定されます。利用者 ID の項目番号を条件に指定した場合は、利用者情報（利用者番号、利用者名、口座情報）が自動設定されます。

なお、社内口座管理・取引先管理に登録された情報より自動設定できなかった場合は、空白が設定されます。

発生記録(債務者)請求にて利用者情報の自動設定機能を利用した場合の例を以下に示します。

**口座情報の項目番号を指定した場合**

読込CSVファイル

0000,001,2,1110000 ヘッダレコード			
1	2	3	4
9999,001,2,1110001 データレコード			
1	2	3	4

**読込CSVフォーマット設定**

利用者情報の自動設定有無

CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する  自動設定する  自動設定しない

債務者情報を取引先管理より自動設定する  自動設定する  自動設定しない

**ヘッダレコード項目**

項目名	項目番号	固定値
種別コード		
発生記録(予定)日		
債務者情報_利用者番号		
債務者情報_債務者名		
債務者情報_金融機関コード	1	
債務者情報_支店コード	2	
債務者情報_口座種別	3	
債務者情報_口座番号	4	
債務者情報_利用者ID		
債務者情報_印		
支払期日		
返済制限有無 #1		
依頼人Ref.No.		

**データレコード項目**

項目名	項目番号	固定値
債務者情報_利用者番号		
債務者情報_債務者名		
債務者情報_金融機関コード	1	
債務者情報_支店コード	2	
債務者情報_口座種別	3	
債務者情報_口座番号	4	
債務者情報_利用者ID		
債務者情報_印		
支払期日		
返済制限有無 #1		
依頼人Ref.No.		

**社内口座管理**

利用者番号 A00000001

債務者名 カナガワカンキョウ

金融機関コード 0000

支店コード 001

口座種別 2

口座番号 1110000

**取引先管理**

利用者番号 B00000001

債務者名 カ 豊洲株式会社1

金融機関コード 9999

支店コード 001

口座種別 2

口座番号 1110001

**CSV読込**

発生記録(債務者)請求作成

CSV読込

発生記録(予定)日: 2013/07/03

発生記録(債務者)情報

呼出	A00000001	カナガワカンキョウ	金融機関コード	0000	支店コード	001	口座種別	2	口座番号	1110000
----	-----------	-----------	---------	------	-------	-----	------	---	------	---------

債務者(取引先)情報/債務情報

詳細	読込 No	利用者番号*	債務者名**	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号
▶ 1	読込	B00000001	豊洲株式会社 1	9999	001	2	1110001

**社内口座管理に登録されている利用者番号、利用者名が自動設定される**

※自動設定できなかった場合は空白が設定される

**取引先管理に登録されている利用者番号、取引先名が自動設定される**

※自動設定できなかった場合は空白が設定される



利用者情報の自動設定機能を利用する場合、項目番号は口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）か利用者 ID のいずれかのみ条件に指定することができます。

・口座情報の項目番号を指定した場合は、利用者 ID の項目番号入力欄は入力不可となります。利用者 ID を指定するには、口座情報に入力した項目番号を削除してください。利用者 ID の項目番号入力欄が入力可能となります。

・利用者 ID の項目番号を指定した場合は、口座情報の項目番号入力欄は入力不可となります。口座情報を指定するには、利用者 ID に入力した項目番号を削除してください。口座情報の項目番号入力欄が入力可能となります。



#### 利用者 ID とは？

会計ソフトの CSV では、企業毎に一意的 ID を付与して口座情報等を管理している場合があります。本ソフトでは利用者 ID（社内口座 ID、取引先 ID）として、社内口座管理、取引先管理に設定することができ、利用者情報の自動設定機能の条件として利用できます。

（各請求画面上には表示されません。）

✚ 各 CSV フォーマットにおける自動設定の条件について、一覧を以下に示します。

No	画面	条件		自動設定される項目	
1	発生記録 (債務者) 請求	債務者情報	社内口座管理	口座情報※ 利用者ID	利用者番号 債務者名 口座情報※
			利用者ID	利用者番号 債務者名 口座情報※	
		債権者情報	取引先管理	口座情報 利用者ID	利用者番号 債権者名 口座情報※
			利用者ID	利用者番号 債権者名 口座情報※	
2	発生記録 (債権者) 請求	債権者情報	社内口座管理	口座情報※ 利用者ID	利用者番号 債権者名 口座情報※
			利用者ID	利用者番号 債権者名 口座情報※	
		債務者情報	取引先管理	口座情報※ 利用者ID	利用者番号 債務者名 口座情報※
			利用者ID	利用者番号 債務者名 口座情報※	
3	譲渡記録請求	債権者情報	社内口座管理	口座情報※ 利用者ID	利用者番号 債権者名 口座情報※
			利用者ID	利用者番号 債権者名 口座情報※	
		譲渡先情報	取引先管理	口座情報※ 利用者ID	利用者番号 譲渡先名 口座情報※
			利用者ID	利用者番号 譲渡先名 口座情報※	
4	譲渡記録請求 (複数取引先)	債権者情報	社内口座管理	口座情報※ 利用者ID	利用者番号 債権者名 口座情報※
			利用者ID	利用者番号 債権者名 口座情報※	
		譲渡先情報	取引先管理	口座情報※ 利用者ID	利用者番号 譲渡先名 口座情報※
			利用者ID	利用者番号 譲渡先名 口座情報※	

※口座情報＝金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号

**✦ 具体例① 読込 CSV フォーマット詳細設定画面にて、口座情報(金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号)の項目番号を指定した場合**

読込 CSV フォーマット詳細設定画面/発生記録 (債務者) 請求

ヘッダレコード項目 各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。				データレコード項目 各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。			
項目名	項目番号	固定値		項目名	項目番号	固定値	
種別コード				債権者情報_利用者番号			
発生記録(予定)日				債権者情報_債権者名			
債務者情報_利用者番号				債権者情報_金融機関コード	3		<b>口座情報</b>
債務者情報_債務者名				債権者情報_支店コード	4		
債務者情報_金融機関コード	3			債権者情報_口座種別	5		
債務者情報_支店コード	4			債権者情報_口座番号	6		
債務者情報_口座種別	5			債権者情報_利用者ID			
債務者情報_口座番号	6			債権金額(円)			
債務者情報_利用者ID				支払期日			
				譲渡制限有無 *1			
				依頼人Ref.No.			

【条件①】 読込 CSV ファイルの情報を以下に示します。

•ヘッダ情報

1	2	3	4	5	6	7
利用者番号	債務者名	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	利用者ID
(設定なし)	(設定なし)	0000	001	当座	1110000	(設定なし)

**口座情報**

•データ情報

1	2	3	4	5	6	7
利用者番号	債務者名	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	利用者ID
(設定なし)	(設定なし)	9999	001	当座	1110001	(設定なし)

**口座情報**

【条件②】 本ソフトの社内口座管理の情報を以下に示します。

利用者名	利用者番号	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	社内口座ID
品川株式会社 (シカワカブシキカイシャ)	A00000001	0000	001	当座	1110000	000000

**口座情報**

【条件③】 本ソフトの取引先管理の情報を以下に示します。

取引先名	利用者番号	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	取引先ID
豊洲株式会社 1	B00000001	9999	001	当座	1110001	111111

**口座情報**



- ・発生記録（債務者）請求作成画面にて【条件①】の CSV ファイルを CSV 読込した結果

発生記録(債務者)請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 発生記録(債務者)請求20130703174904\_CSV.csv

発生記録(予定)日\* 2013/07/03

債務者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	債務者名**	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
	A000000001	アガアガアアガ	0000	001	2:当座	1110000

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者利用者番号*	債権者名**	債権者金融機関コード*	債権者支店コード*	債権者口座種別*	債権者口座番号
▶ 1 詳細	1	B000000001	豊洲株式会社 1	0999	001	2:当座	1110001

行ジャンプ 検索

\*必須項目 \*\*一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

**【条件①】の読込 CSV ファイルのヘッダ情報の  
口座情報(金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号)に一致する  
【条件②】の社内口座管理情報(利用者番号、利用者名)が自動設定される**

**【条件①】の読込 CSV ファイルのデータ情報の  
口座情報(金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号)に一致する  
【条件③】の取引先管理情報(利用者番号、取引先名)が自動設定される**

**具体例② 読込 CSV フォーマット詳細設定画面にて、利用者 ID の項目番号を指定した場合**

読込 CSV フォーマット詳細設定画面／発生記録（債務者）請求

ヘッダコード項目 各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。			データコード項目 各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。		
項目名	項目番号	固定値	項目名	項目番号	固定値
種別コード			債権者情報_利用者番号		
発生記録(予定)日			債権者情報_債権者名		
債務者情報_利用者番号			債権者情報_金融機関コード		
債務者情報_債務者名カ			債権者情報_支店コード		
債務者情報_金融機関コード			債権者情報_口座種別		
債務者情報_支店コード			債権者情報_口座番号		
債務者情報_口座種別			債権者情報_利用者ID	7	利用者ID
債務者情報_口座番号			債権金額(円)		
債務者情報_利用者ID	7	利用者ID	支払期日		
			譲渡制限有無 *1		
			依頼人Ref.No.		

【条件①】 読込 CSV ファイルの情報を以下に示します。

•ヘッダ情報

1	2	3	4	5	6	7
利用者番号	債務者名カ	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	利用者ID
(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	000000

利用者ID

•データ情報

1	2	3	4	5	6	7
利用者番号	債務者名カ	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	利用者ID
(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	111111

利用者ID

【条件②】 本ソフトの社内口座管理の情報を以下に示します。

利用者名	利用者番号	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	社内口座ID
品川株式会社 (シカワカブシカイヤ)	A00000001	0000	001	当座	1110000	000000

利用者ID

【条件③】 本ソフトの取引先管理の情報を以下に示します。

取引先名	利用者番号	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	取引先ID
豊洲株式会社 1	B00000001	9999	001	当座	1110001	111111

利用者ID

- ・発生記録（債務者）請求作成画面にて【条件①】の CSV ファイルを CSV 読込した結果

発生記録(債務者)請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 発生記録(債務者)請求20130703174904\_CSV.csv

発生記録(予定)日\* 2013/07/03

債務者(請求者)情報

呼出 利用者番号\* A00000001 債務者名\*\* しががががががががががが 金融機関コード\* 0000 支店コード\* 001 口座種別\* 2:当座 口座番号\* 1110000

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者 利用者番号*	債権者名**	債権者 金融機関コード*	債権者 支店コード*	債権者 口座種別*	債権者 口座番号
▶ 1 詳細	1	B00000001	豊洲株式会社 1	9999	001	2:当座	1110001

行ジャンプ 検索

\*必須項目 \*\*一括請求ファイル出力対象外項目

一括請求ファイル作成

【条件①】の読込 CSV ファイルのヘッダ情報の利用者 ID に一致する  
 【条件②】の社内口座管理情報(利用者番号、利用者名、  
 口座情報(金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号))が自動設定される

【条件①】の読込 CSV ファイルのデータ情報の利用者 ID に一致する  
 【条件③】の取引先管理情報(利用者番号、取引先名、  
 口座情報(金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号))が自動設定される

## 4.5 読込 CSV フォーマットのタイトル行有無について

フォーマット形式が「ヘッダレコード無」である任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを使用する場合、読込 CSV フォーマット詳細設定画面にて、タイトル行有無の選択を行うことができます。

### 4.5.1 タイトル行有

各請求作成画面にて CSV 読込みを行う際、読込 CSV ファイルの 2 行目から読込みを開始します。

読込 CSV ファイル

1行目	発生記録(予定)日,利用者番号,債務者名加,金融機関コード,支店コード,口座種別,口座番号,利用者番号,債務者名加,金融機関コード,支店コード,口座種別,口座番号		タイトル行
読込開始位置 → 2行目	20130430,A12345678,シナワカアツキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社1,9999,001,2,1100001,9999999999,20140401,0,REF.NO.000001		データレコード
3行目	20130430,A12345678,シナワカアツキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00	読込対象 1100002,9999999999,20140401,0,REF.NO.000002	
4行目	20130430,A12345678,シナワカアツキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00	1100003,9999999999,20140401,0,REF.NO.000003	
5行目	20130430,A12345678,シナワカアツキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社4,9999,001,2,1100004,9999999999,20140401,0,REF.NO.000004		

### 4.5.2 タイトル行無

各請求作成画面にて CSV 読込みを行う際、読込 CSV ファイルの 1 行目から読込みを開始します。

読込 CSV ファイル

読込開始位置 → 1行目	20130430,A12345678,シナワカアツキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社1,9999,001,2,1100001,9999999999,20140401,0,REF.NO.000001		データレコード
2行目	20130430,A12345678,シナワカアツキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00	読込対象 1100002,9999999999,20140401,0,REF.NO.000002	
3行目	20130430,A12345678,シナワカアツキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00	1100003,9999999999,20140401,0,REF.NO.000003	
4行目	20130430,A12345678,シナワカアツキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社4,9999,001,2,1100004,9999999999,20140401,0,REF.NO.000004		

## 5 補足事項(出力CSVフォーマット設定)

### 5.1 出力 CSV フォーマットのフォーマット形式(ヘッダレコード有／ヘッダレコード無)について

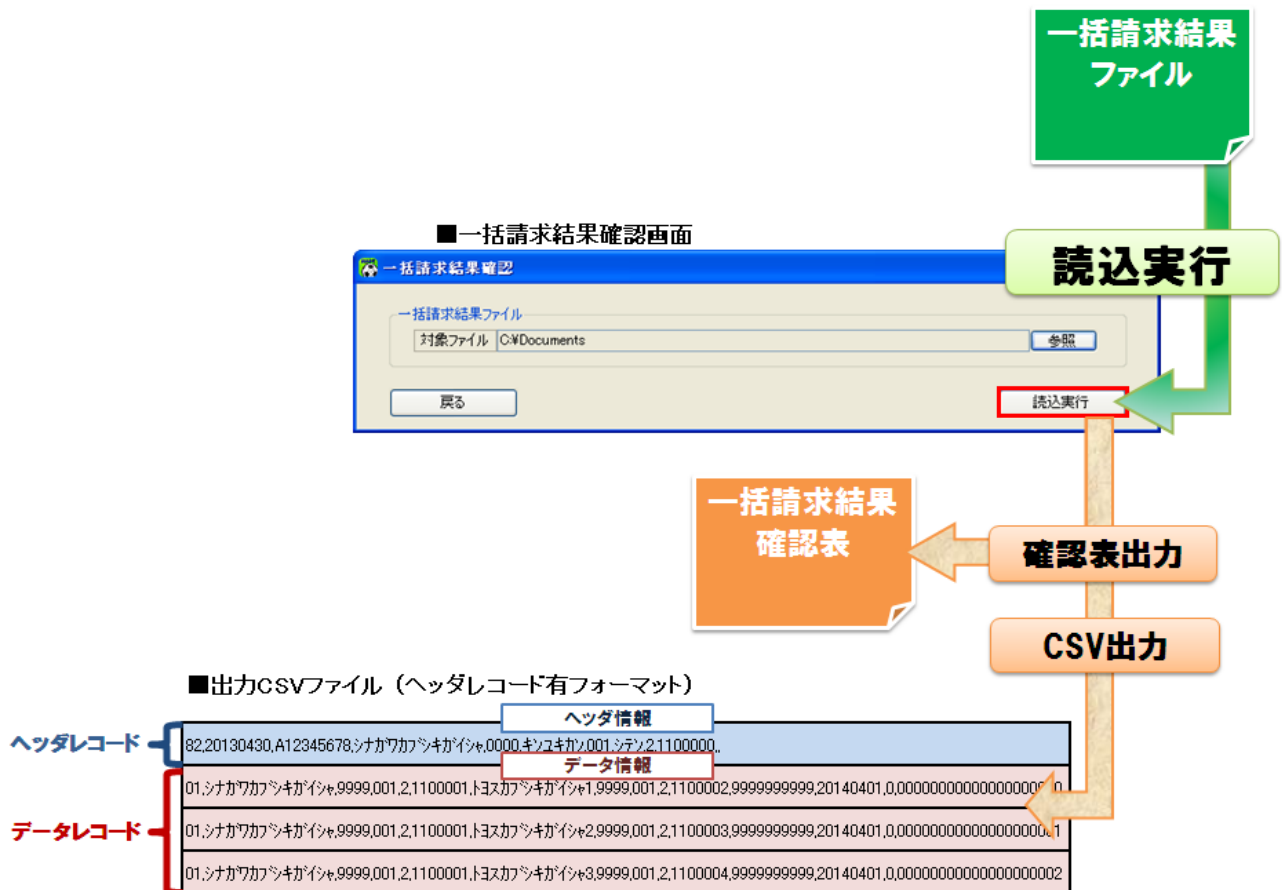
本ソフトでは、任意フォーマットとして使用する場合、2種類の出力 CSV フォーマット形式を選択できます。

#### 5.1.1 ヘッダレコード有フォーマット

ヘッダレコード有フォーマットとは、1行目にヘッダ情報、2行目以降にデータ情報が設定された CSV ファイルを出力する場合に使用するフォーマットです。

一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、設定したフォーマット形式の CSV ファイルが出力されます。

一括請求結果にてヘッダレコード有フォーマットを使用した場合の例を以下に示します。



## 5.1.2 ヘッドレコード無フォーマット

ヘッドレコード無フォーマットとは、すべての行にヘッダ情報とデータ情報が設定された CSV ファイルを出力する場合に使用するフォーマットです。

一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、設定したフォーマット形式の CSV ファイルが出力されます。

一括請求結果にてヘッドレコード無フォーマットを利用した場合の例を以下に示します。



フォーマット形式が「ヘッドレコード無」の場合、出力 CSV ファイルのヘッダ情報には全レコードに同一の値が設定されます。

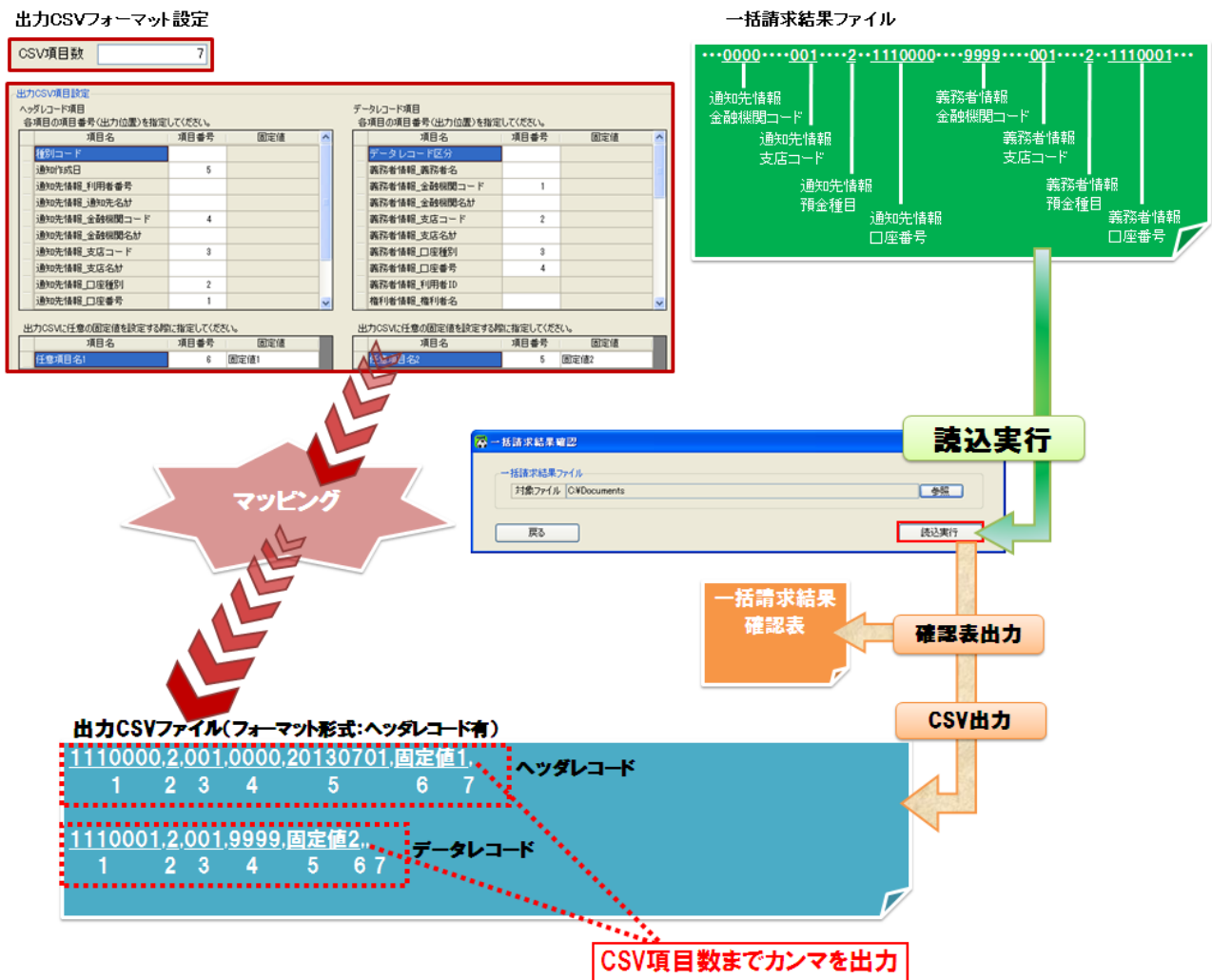
## 5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)/CSV 項目数について

任意フォーマットの出力 CSV フォーマットを使用する場合、項目番号（出力位置）および CSV 項目数を自由に設定することができます。

項目番号（出力位置）を設定することで、一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、各項目をマッピングして出力します。

CSV 項目数を設定することで、出力 CSV ファイルの各レコード末尾にカンマを付加して出力することができます。

一括請求結果にて出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)を設定した場合の例を以下に示します。

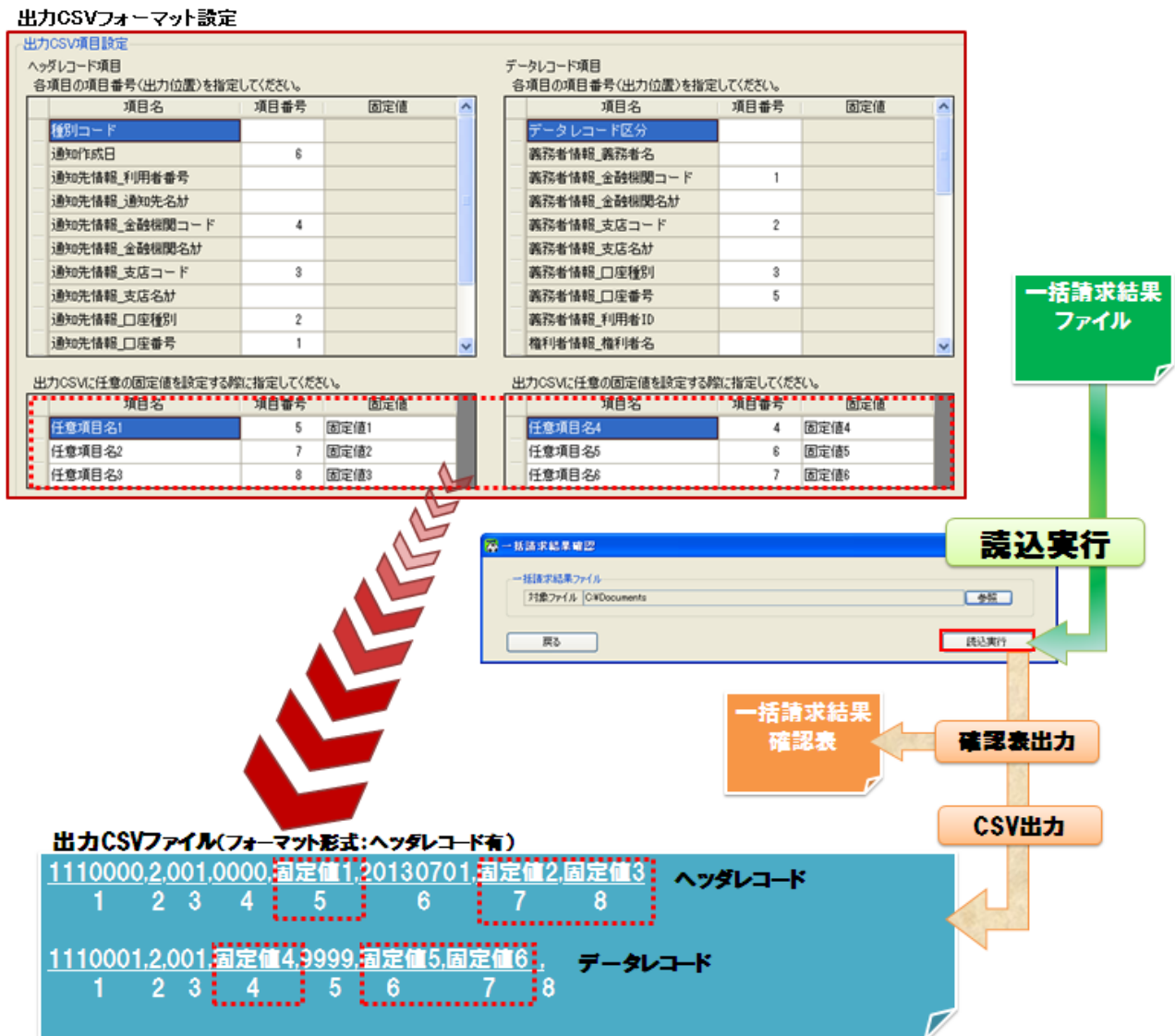


### 5.3 出力 CSV フォーマットの固定値設定機能について

任意フォーマットの出力 CSV フォーマットを使用する場合、一括請求結果ファイルや通知ファイルに設定されない任意の固定値を設定することができます。

設定した固定値は、一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、出力された CSV ファイルの設定した項目番号（出力位置）に、一律設定されます。

一括請求結果にて固定値を設定した場合の例を以下に示します。





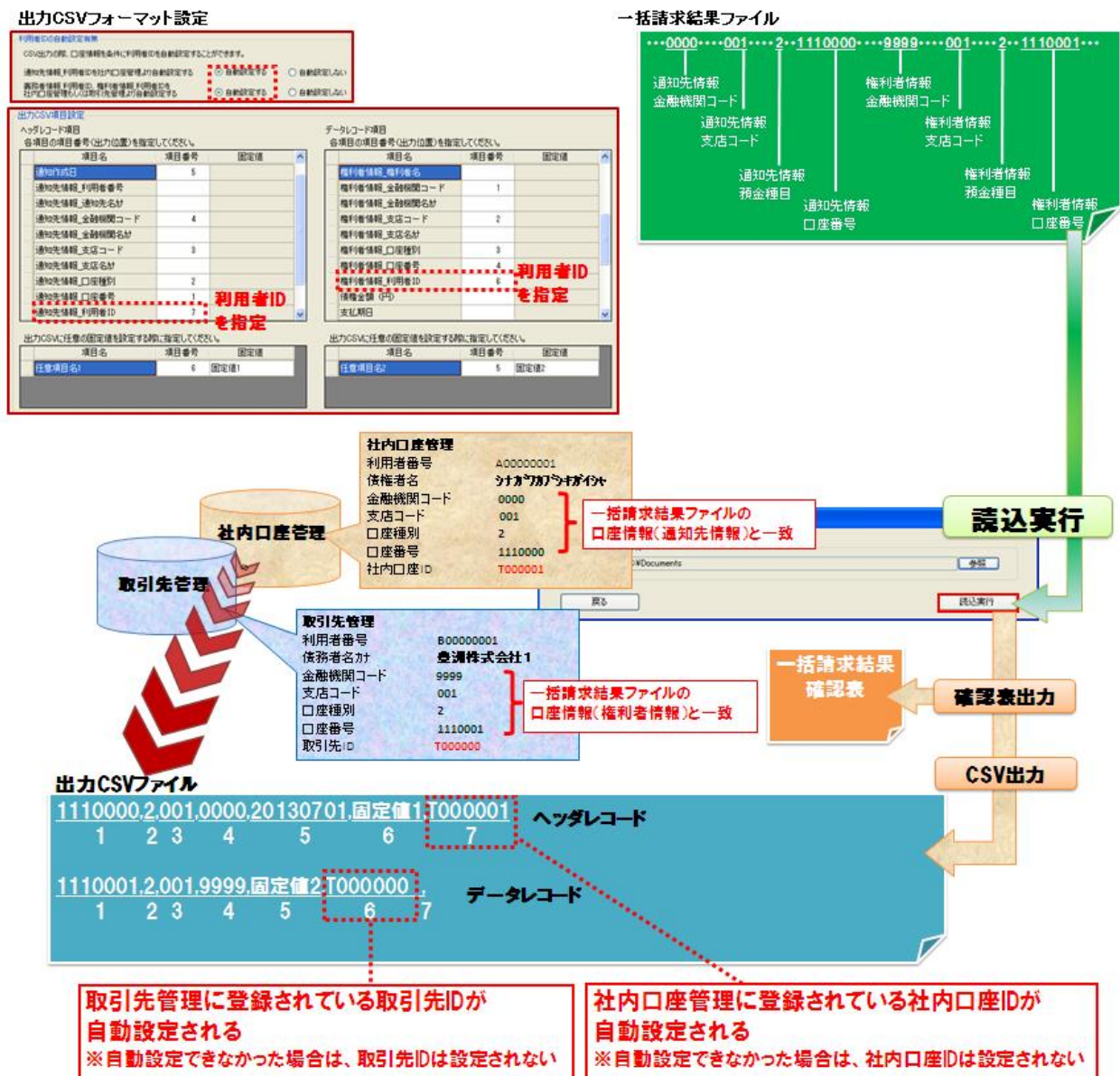
## 5.4 出力 CSV フォーマットの利用者 ID の自動設定機能について

一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、読込ファイルに設定された口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）を条件に、本ソフトの社内口座管理・取引先管理に登録した利用者 ID を対応付けて（紐付けて）出力 CSV ファイルに自動設定することができます。

利用者 ID の項目番号を条件に指定すると、出力 CSV ファイルの設定した項目番号（出力位置）に利用者 ID が自動設定されます。

なお、社内口座管理・取引先管理に登録された情報より自動設定できなかった場合は、利用者 ID は設定されません。

一括請求結果にて利用者 ID の自動設定機能を利用した場合の例を以下に示します。





### 利用者 ID とは？

---

会計ソフトの CSV では、企業毎に一意的 ID を付与して口座情報等を管理している場合があります。本ソフトでは利用者 ID（社内口座 ID、取引先 ID）として、社内口座管理、取引先管理に設定することができます。

利用者 ID を社内口座管理、取引先管理に事前に設定しておくことで、CSV ファイル出力時に、条件が一致する利用者 ID を社内口座管理、取引先管理に登録された情報より自動設定することができます。

✚ 各 CSV フォーマットにおける自動設定の条件について、一覧を以下に示します。

No	読込ファイル	条件		自動設定される項目	
1	一括請求結果	通知先情報	社内口座管理	口座情報※	通知先情報_利用者ID
		義務者情報	社内口座管理もしくは取引先管理 *1	口座情報※	義務者情報_利用者ID
		権利者情報	社内口座管理もしくは取引先管理 *1	口座情報※	権利者情報_利用者ID
2	通知	通知先情報	社内口座管理	口座情報※	通知先情報_利用者ID
		義務者情報	社内口座管理もしくは取引先管理 *2	口座情報※	義務者情報_利用者ID
		権利者情報	社内口座管理もしくは取引先管理 *2	口座情報※	権利者情報_利用者ID

※口座情報＝金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号

\*1 参考：読込ファイルが一括請求結果の場合の条件の詳細について、一覧を以下に示します。

No	データレコード区分	条件		
		通知先情報	義務者情報	権利者情報
1	01：発生（債務者請求方式）	社内口座管理	社内口座管理	取引先管理
2	02：発生予約（債務者請求方式）	社内口座管理	社内口座管理	取引先管理
3	03：発生（債権者請求方式）	社内口座管理	取引先管理	社内口座管理
4	04：発生予約（債権者請求方式）	社内口座管理	取引先管理	社内口座管理
5	05：譲渡	社内口座管理	社内口座管理	取引先管理
6	06：譲渡予約	社内口座管理	社内口座管理	取引先管理
7	07：分割譲渡	社内口座管理	社内口座管理	取引先管理
8	08：分割譲渡予約	社内口座管理	社内口座管理	取引先管理

\*2 参考：読込ファイルが通知の場合の条件の詳細について、一覧を以下に示します。

No	作成対象区分	条件		
		通知先情報	義務者情報	権利者情報
1	指定しない	社内口座管理	義務者情報＝通知先情報の場合 社内口座管理	権利者情報＝通知先情報の場合 社内口座管理
			義務者情報≠通知先情報の場合 取引先管理	権利者情報≠通知先情報の場合 取引先管理
2	受入債権一覧 （発生・譲渡による受入）	社内口座管理	取引先管理	社内口座管理

✚ 具体例 出力 CSV フォーマット詳細設定画面にて、利用者 ID の項目番号を指定した場合

出力 CSV フォーマット詳細設定画面／一括請求結果

ヘッダレコード項目  
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
通知作成日	5	
通知先情報_利用者番号		
通知先情報_通知先名か		
通知先情報_金融機関コード	4	
通知先情報_金融機関名か		
通知先情報_支店コード	3	
通知先情報_支店名か		
通知先情報_口座種別	2	
通知先情報_口座番号	1	
通知先情報_利用者ID	7	利用者ID

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
任意項目名1	6	固定値1

データレコード項目  
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
権利者情報_権利者名		
権利者情報_金融機関コード	1	
権利者情報_金融機関名か		
権利者情報_支店コード	2	
権利者情報_支店名か		
権利者情報_口座種別	3	
権利者情報_口座番号	4	
権利者情報_利用者ID	6	利用者ID
債権金額(円)		
支払期日		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
任意項目名2	5	固定値2

【条件①】 一括請求結果ファイルの情報を以下に示します。

・通知先情報

金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号
0000	001	当座	1110000

口座情報

・権利者情報

金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号
9999	001	当座	1110001

口座情報

【条件②】 本ソフトの社内口座管理の情報を以下に示します。

利用者名	利用者番号	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	社内口座ID
品川株式会社 (シカワカブシキカイシャ)	A00000001	0000	001	当座	1110000	000000

口座情報

利用者ID

【条件③】 本ソフトの取引先管理の情報を以下に示します。

取引先名	利用者番号	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	取引先ID
豊洲株式会社 1	B00000001	9999	001	当座	1110001	111111

口座情報

利用者ID

・一括請求結果確認画面にて【条件①】の一括請求結果ファイルを読込実行した結果

・出力 CSV ファイル

1	2	3	4	5	6	7
通知先情報 _口座番号	通知先情報 _口座種別	通知先情報_ 支店コード	通知先情報 _金融機関コード	通知先情報 _通知作成日	任意項目名1 (設定なし)	通知先情報 _利用者ID
1110000	当座	001	0000	20130701	(設定なし)	111111

1	2	3	4	5	6
権利者情報 _金融機関コード	権利者情報_ 支店コード	権利者情報_ 口座種別	権利者情報 _口座番号	任意項目名2	権利者情報 _利用者ID
9999	001	当座	1110001	固定値2	111111

【条件①】の一括請求結果ファイルの通知先情報の  
口座情報(金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号)に一致する  
【条件②】の社内口座管理情報(社内口座 ID)が自動設定される

【条件①】の一括請求結果ファイルの権利者情報の  
口座情報(金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号)に一致する  
【条件③】の取引先管理情報(取引先 ID)が自動設定される

## 5.5 出力 CSV フォーマットのタイトル行有無について

フォーマット形式が「ヘッダレコード無」である任意フォーマットの出力 CSV フォーマットを使用する場合、出力 CSV フォーマット詳細設定画面にて、タイトル行有無の選択を行うことができます。

### 5.5.1 タイトル行有

一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、出力 CSV ファイルの 1 行目にタイトル行（項目名）を設定し、2 行目以降にデータレコードを設定します。

出力CSVファイル

1行目	通知作成日,通知先情報_利用者番号,通知先情報_通知先名カナ,通知先情報_金融機関コード,通知先情報_金融機関名カナ,通知先情報_支店名コード,通知先情報_支店カナ
2行目	20130430,A12345678,シナワカフツキガイシ,0000,キヌキカ,001,シデン,2,1100000,01,シナワカフツキガイシ,9999,001,2,1100001,トヨスカフツキガイシ,1,9999,001,2,1100002
3行目	20130430,A12345678,シナワカフツキガイシ,0000,キヌキカ,001,シデン,2,1100000,01,シナワカフツキガイシ,9999,001,2,1100001,トヨスカフツキガイシ,2,9999,001,2,1100003
4行目	20130430,A12345678,シナワカフツキガイシ,0000,キヌキカ,001,シデン,2,1100000,01,シナワカフツキガイシ,9999,001,2,1100001,トヨスカフツキガイシ,3,9999,001,2,1100004
5行目	20130430,A12345678,シナワカフツキガイシ,0000,キヌキカ,001,シデン,2,1100000,01,シナワカフツキガイシ,9999,001,2,1100001,トヨスカフツキガイシ,4,9999,001,2,1100005

1行目: タイトル行 (項目名)  
2行目以降: データレコード

### 5.5.2 タイトル行無

一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、出力 CSV ファイルの 1 行目からデータレコードを設定します。

出力CSVファイル

1行目	20130430,A12345678,シナワカフツキガイシ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社,1,9999,001,2,1100001,9999999999,20140401,0,REF.NO.000001
2行目	20130430,A12345678,シナワカフツキガイシ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社,2,9999,001,2,1100002,9999999999,20140401,0,REF.NO.000002
3行目	20130430,A12345678,シナワカフツキガイシ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社,3,9999,001,2,1100003,9999999999,20140401,0,REF.NO.000003
4行目	20130430,A12345678,シナワカフツキガイシ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社,4,9999,001,2,1100004,9999999999,20140401,0,REF.NO.000004

1行目以降: データレコード

---

## 一括請求 Assist<sup>®</sup> Ver.2 操作マニュアル

# CSV フォーマット設定編

---

平成 26 年 8 月 18 日 第 2.1 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、電子記録債権サービスである「でんさいネット」を使用する目的に限り使用できるものとします。
  - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
  - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-